

(仮称)防府市地域公共交通網形成計画

平成 29 年 10 月時点案

目 次

第1章 はじめに	1
1. 計画策定の目的	1
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画の区域	2
4. 計画の期間	2
第2章 防府市におけるまちづくりの方向性	3
1. 最上位計画	3
2. 関連計画	4
3. 既存の公共交通計画	7
第3章 防府市を取り巻く環境	8
1. 位置・地勢	8
2. 人口・高齢化	9
3. 自動車を取り巻く環境	10
4. 通勤・通学流動と移動手段	11
5. 市民の移動実態	12
6. 主な移動目的地の状況	14
7. 観光動向	15
第4章 公共交通の状況	16
1. 公共交通網	16
2. 公共交通の人口カバー率	17
3. 鉄道	18
4. 高速バス	18
5. 路線バス	19
6. 乗合タクシー	25
7. タクシー	27
8. 離島航路	28
9. 移動支援	30
10. 市の財政負担	34
第5章 公共交通に関する各種調査結果	35
1. 各種アンケート調査の概要	35
2. 市民アンケート調査結果	36
3. 民生委員アンケート調査結果	41
4. 高校生アンケート調査結果	42
5. 事業所アンケート調査結果	45
6. 県立総合医療センターアンケート調査結果	46
7. 観光客アンケート調査結果	48
8. 交通事業者ヒアリング調査結果	51
9. 市街地循環ワゴン実証運行の結果	52

第6章 防府市における公共交通の課題	55
1.ネットワーク形成と利用環境に関する課題	55
2.高齢化に関する課題	58
3.協働・連携に関する課題	58

第1章 はじめに

1. 計画策定の目的

本市では、これまで、平成21年に「防府市生活交通活性化計画」、平成26年に「第二次防府市生活交通活性化計画」を策定し、市民、交通事業者、行政が連携して、路線バスをはじめとする生活交通の活性化に向けたさまざまな施策に取り組んできました。

しかしながら、人口減少や少子高齢化、自家用車に依存した生活スタイルの定着など、公共交通を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

一方で、高齢者をはじめとする、自らの移動手段を持たない人にとって、公共交通は日常生活を支える大切な交通手段であり、今後さらなる高齢化の進行にともない、ますますその必要性は高まっています。

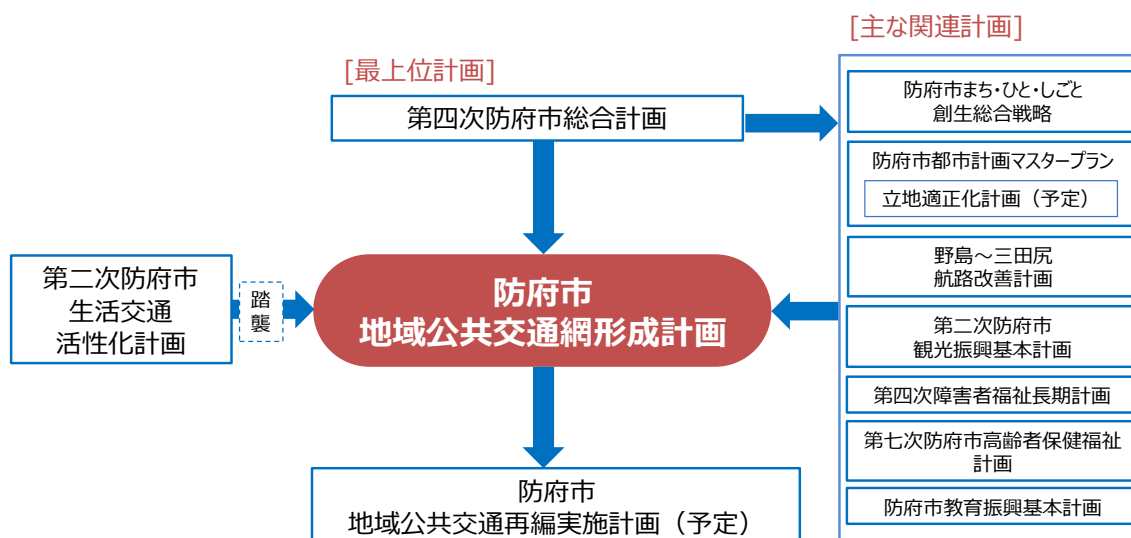
こうした中、国においては、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律」が平成26年11月に施行され、地方公共団体が中心となり、交通事業者や地域住民と連携し、持続可能な地域公共交通網の形成に取り組むこととされました。

また、本市においては、平成27年10月に「防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少社会に対応したコンパクトなまちづくりと連携して、公共交通ネットワークの形成を進めていくこととしたところです。

こうした背景を踏まえ、市民、交通事業者、行政が適切な役割分担のもと、本市の実情に即した持続可能な公共交通網を実現することを目的として「防府市地域公共交通網形成計画」を策定します。

2. 計画の位置づけ

防府市地域公共交通網形成計画は、市の最上位計画である「第四次防府市総合計画（平成 23 年 3 月策定）」に即し、「第二次防府市生活交通活性化計画（平成 26 年 3 月策定）」を踏襲するとともに、関連計画との整合を図るものとしします。なお、上位計画の改訂や社会状況の変化など特段の配慮が生じた状況により、必要に応じて本計画の見直しを行います。



3. 計画の区域

本計画は、防府市全域を対象とします。

4. 計画の期間

本計画の計画期間は、平成 30 年度から平成 35 年度までの 6 年間とします。

第2章 防府市におけるまちづくりの方向性

1. 最上位計画

第四次防府市総合計画

[基本構想（平成23年3月策定）]

○まちづくりの理念と将来都市像

まちづくりの理念

安全で安心して暮らせるまち
豊かな自然と共生するとともに、安全な環境が確保され、誰もが生涯にわたり笑顔に囲まれて、明るく健やかに安心して暮らせるまちを目指します。

多彩な魅力が輝くまち
先人が築いてきた歴史や文化を誇りとし、人やもの、情報など多様な交流を通して新しい価値を創造していきながら、多彩な魅力が輝き、未来に発展するまちを目指します。

いきいきと人がふれあい活力のあるまち
それぞれの意志を尊重し、意欲や創意工夫が活かされるとともに、みんなが役割を分担・補完しあって、いきいきと人がふれあい、活力のあるまちを目指します。

まちづくりの理念に掲げる目指すまちの姿
(イメージ)を将来都市像として
表します。

将来都市像

人・まち元気 誇り高き文化産業都市 防府

[基本計画（平成23年3月策定、平成28年3月改訂）]

○基本計画に示された公共交通に関する施策

- **生活交通システムの充実**
 - ・ 情報提供の充実や利用啓発イベントの実施など路線バス等の生活交通の利便性向上、利用促進を図る。
 - ・ 既存の路線バスを補完するコミュニティバスや乗合タクシーなど新たな交通サービスの導入を進める。
 - ・ JR山陽本線の利便性を高めるため、関係機関と連携し、運行ダイヤの充実や駅のバリアフリー化などを促進する。
- **離島航路の確保**
 - ・ 三田尻～野島間を運航している野島海運の経営の安定化を図り、離島航路を安定的に維持する。

○目標指標

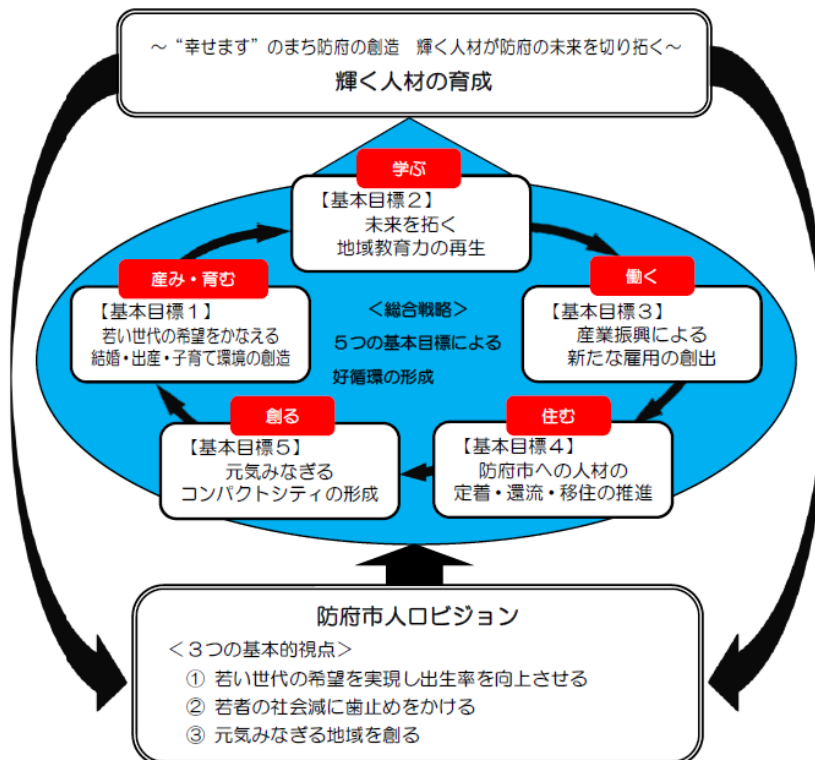
目標指標	実績（平成21年度）	実績（平成26年度）	目標（平成32年度）
路線バス（市内で完結するシステム）利用者数（年間）	42万人	30万6千人	33万人

2. 関連計画

① 防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成 27 年 10 月策定、平成 28 年 12 月改訂)

○基本的な考え方

- ・防府市人口ビジョンによる3つの基本的視点から5つの基本目標を設定し、「産み・育む」、「学ぶ」、「働く」、「住む」、「創る」の好循環を形成
- ・防府の未来を切り拓いていく人材を育み続け、“幸せます”のまち防府を創造



○公共交通に関する施策

【基本目標 5】元気みなぎるコンパクトシティの形成

● 都市核と地域を繋ぐ交通ネットワーク形成

バス路線の基点となっている防府駅周辺の中心部と各地域との有機的な交通ネットワークを形成するため、幹線となるバス路線の確保・活性化を図るとともに、幹線との接続や地域内の生活圏づくりに資する生活交通サービスの充実を進める。

○重要業績評価指標 (KPI)

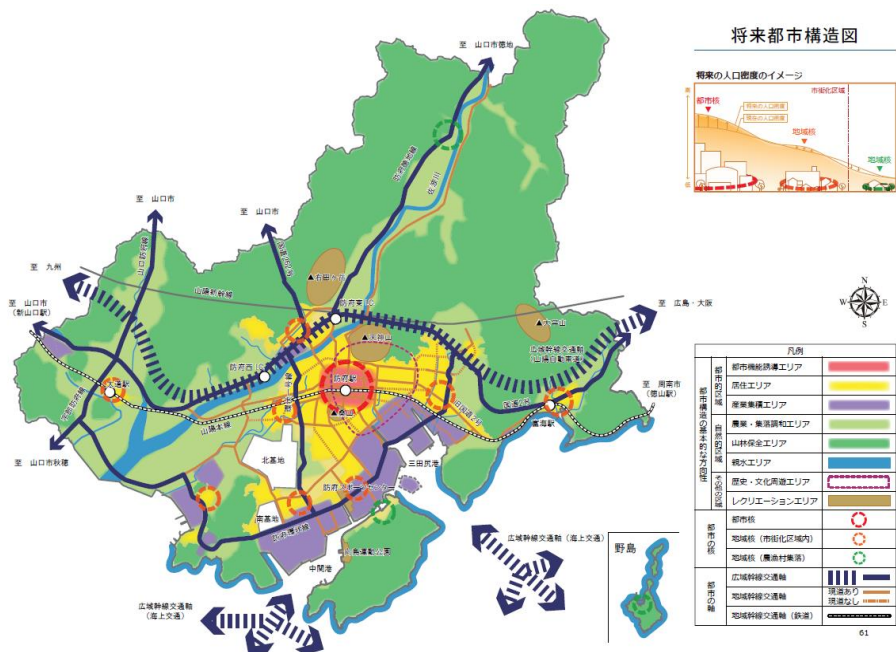
項目	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成31年度)
路線バス (市内で完結する系統) 利用者数	30万6千人	33万人

② 防府市都市計画マスタープラン ※平成 30 年 3 月改訂予定

○これからのまちづくりの考え方

全国的な少子高齢化の進行や人口減少の波は本市にも押し寄せ、従来の拡大を前提としたまちづくりとは異なる都市の発展の形を模索していく必要がある。

○将来都市構造



<都市核>

都市核は、本市の中心及び県央部の主導的な役割を担う高次都市機能の集積地、市内各地域及び周辺都市との交通結節点として位置づける。

都市核においては、商業施設・業務施設・公共施設等の都市機能の集積及び空間のデザイン化を図り、本市の顔となる魅力や利便性を高めるまちづくりを展開する。

<地域核>

地域核は、各地域に応じた生活利便性を有するまちづくりの展開に向けて、日常生活、交流、交通等の拠点として位置づける。

市街化区域内の地域核においては、生活に必要なサービスを担保し、公共交通で多極的なネットワーク化を図ることで、将来の都市構造を支える拠点形成を図るとともに、持続的な地域コミュニティに寄与するまちづくりを展開する。

農漁村集落の地域核においては、交流機能を中心に、地域に合った生活サービスや交通ネットワークの確保等により、コミュニティ維持に向けた拠点形成を図る。

○公共交通に関する基本的な考え方

過度な自動車交通への依存に伴う朝夕を中心とした交通渋滞の慢性化、環境問題、高齢者の増加、障害者への対応を踏まえ、鉄道やバス等の公共交通機関の役割の再認識を図り、利用の促進及び利便性の強化に向けた整備を促す。

③ その他の主な関連計画

計画の名称	公共交通に関連する事項
野島～三田尻航路改善計画 (平成 29 年 3 月策定)	<ul style="list-style-type: none"> ・航路に関わる現状を踏まえるとともに、将来にわたる航路の持続的な運航・運営を目指して、今後の欠損増大等を回避し、航路事業者としての経営改善、安全な運航サービスの確保、地域振興と連携した利用促進等を図る。
第二次防府市 観光振興基本計画 (平成 28 年 3 月策定)	<ul style="list-style-type: none"> ・本市を訪れる全ての観光客や来訪者が快適に、安心・安全に過ごせる観光基盤の整備に取り組む。
第四次防府市 障害者福祉長期計画 (平成 28 年 3 月見直し)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人が地域で安心して生活できるよう、生活環境の整備を進める。 ・地域社会において、障害のある人が障害のない人と共に様々な活動を行うことができるよう支援する。
第七次防府市 高齢者保健福祉計画 (平成 27 年 3 月策定)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の外出を促し支援する。
防府市教育振興基本計画 (平成 29 年 3 月見直し)	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的制約のある児童生徒に対する就学支援に努める。

3. 既存の公共交通計画

本市では、生活交通を将来にわたって維持・確保するという視点から、平成26年度から平成32年度の7年間の生活交通の指針を示す「第二次防府市生活交通活性化計画」を策定しました。「防府市地域公共交通網形成計画」では、「第二次防府市生活交通活性化計画」を踏襲することとします。

第二次防府市生活交通活性化計画(平成26年3月策定)

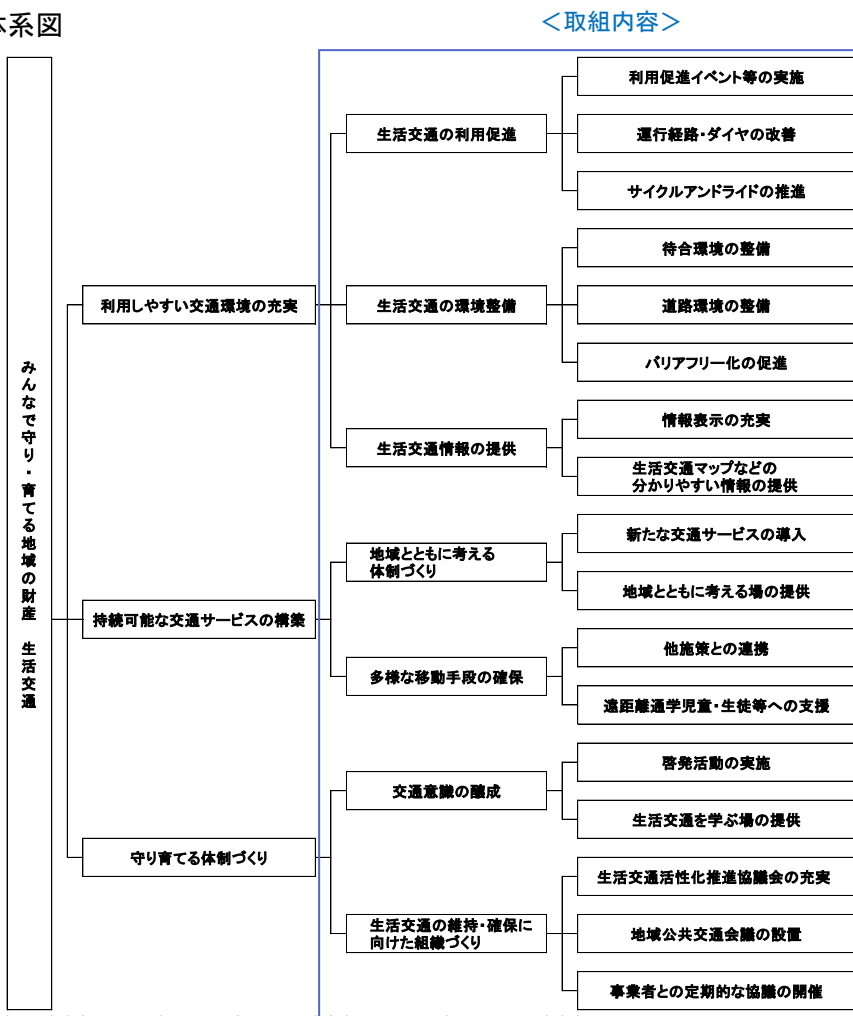
○基本理念

みんなで守り育てる 地域の財産 生活交通

○取組の基本方針

- ・ 利用しやすい交通環境の充実
- ・ 持続可能な交通サービスの構築
- ・ 守り育てる体制づくり

○計画の体系図



○目標指標

項目	現状値	目標値
	平成24年度	平成32年度
路線バス（市内で完結する路線）の利用者数 （新たな交通サービスの利用者を含む）	32万8千人	33万人

第3章 防府市を取り巻く環境

1. 位置・地勢

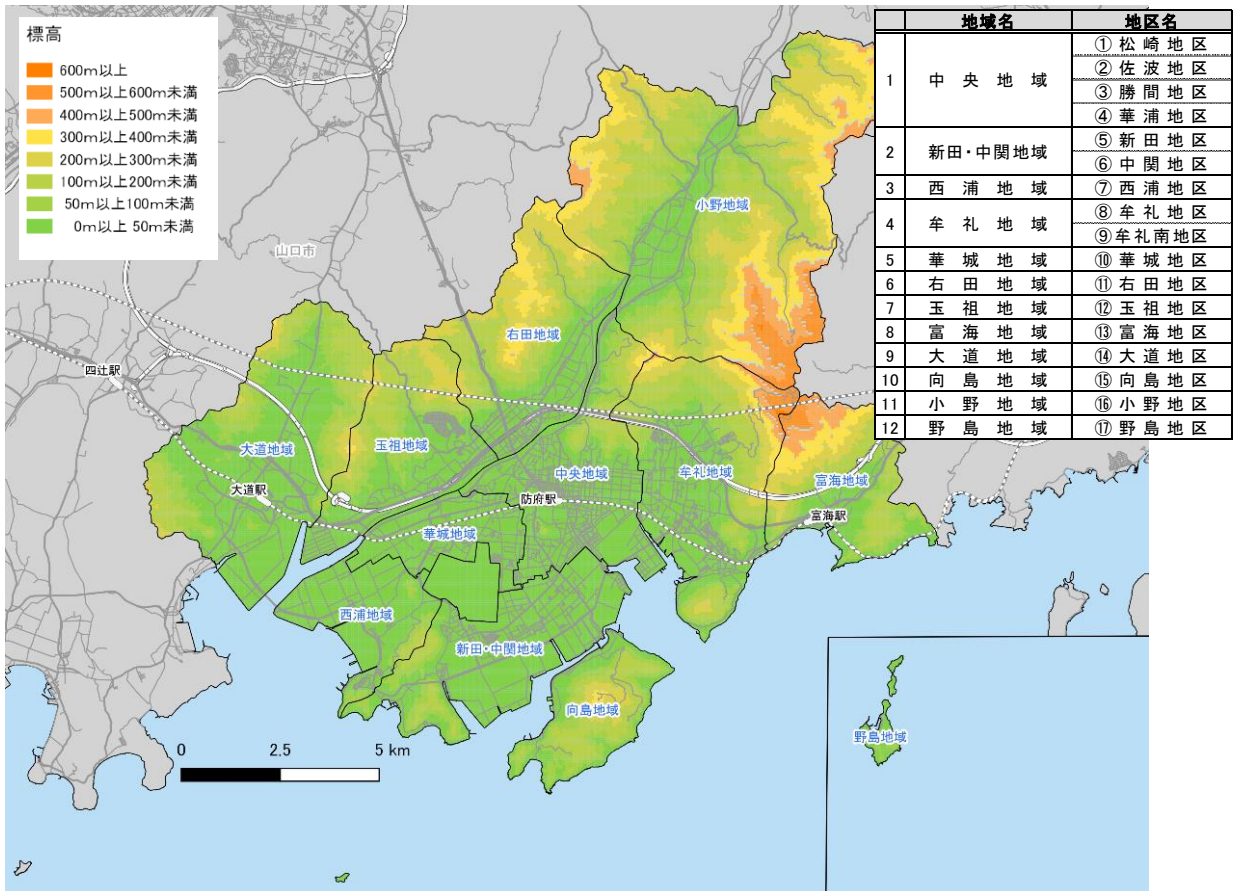
本市は山口県のほぼ中央に位置し、東は周南市、北から西にかけては山口市と接しています。

一級河川佐波川の下流に開けた県内最大の平野を有しており、中央部は高低差が少ない平坦な地形となっています。北部には中国山地が連なり、東部には市最高峰となる大平山がそびえています。



図表 1 本市の位置

本計画では、防府市都市計画マスタープラン（平成 30 年 3 月改訂予定）の地域別まちづくり構想との整合を図り、市域を 12 地域に区分し、本市を取り巻く状況の整理を行います。

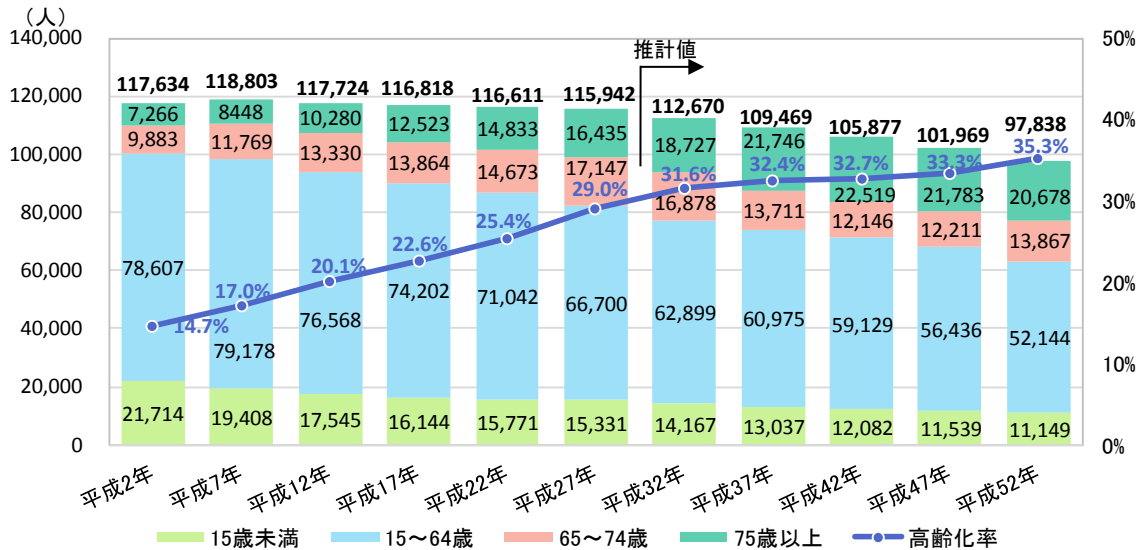


図表 2 地勢、地域区分

2. 人口・高齢化

国勢調査によると、平成 27 年の本市の人口は約 11 万 6 千人で平成 7 年をピークに減少に転じている一方、高齢化率は上昇しています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後も人口減少と高齢化が進行すると予測されています。

人口分布と高齢化の状況を見ると、中央部に人口が集中し、周辺部は中央部に比べ人口が少なく、高齢化率が高い状況にあります。

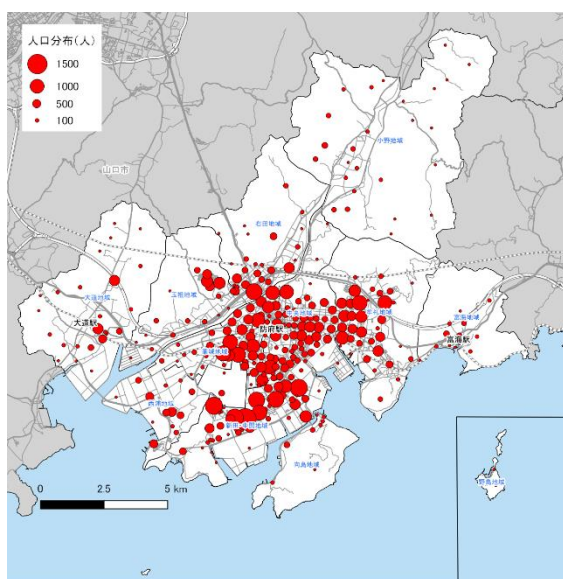


※平成 27 年までは年齢不詳人口を総合計に含むため、総合計と各年齢層の計が合致しない場合がある。

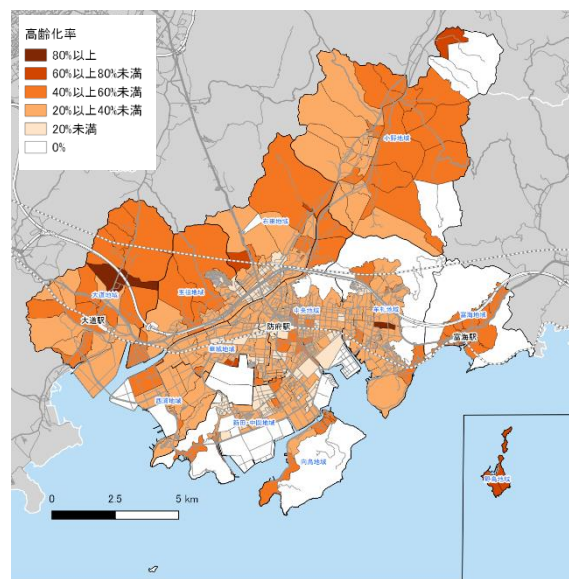
※平成 32 年からは端数処理のため、総合計と各値の計が合致しない場合がある。

資料：国勢調査（平成 2 年～27 年）、国立社会保障・人口問題研究所（平成 32 年～52 年）

図表 3 人口推移と将来人口推計



図表 4 人口分布

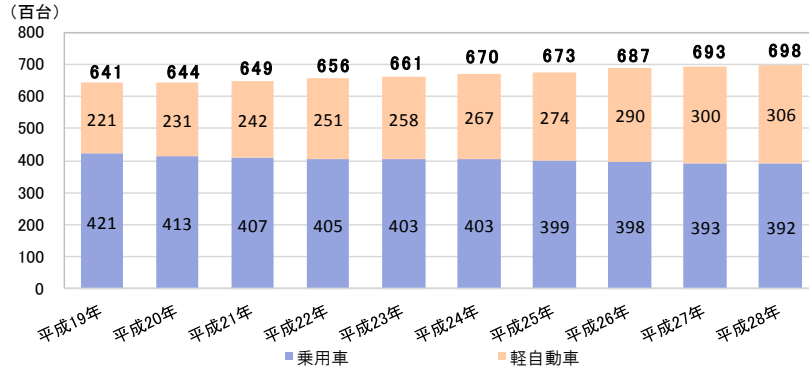


図表 5 小地域（町丁・字）別の高齢化率

資料：平成 27 年国勢調査

3. 自動車を取り巻く環境

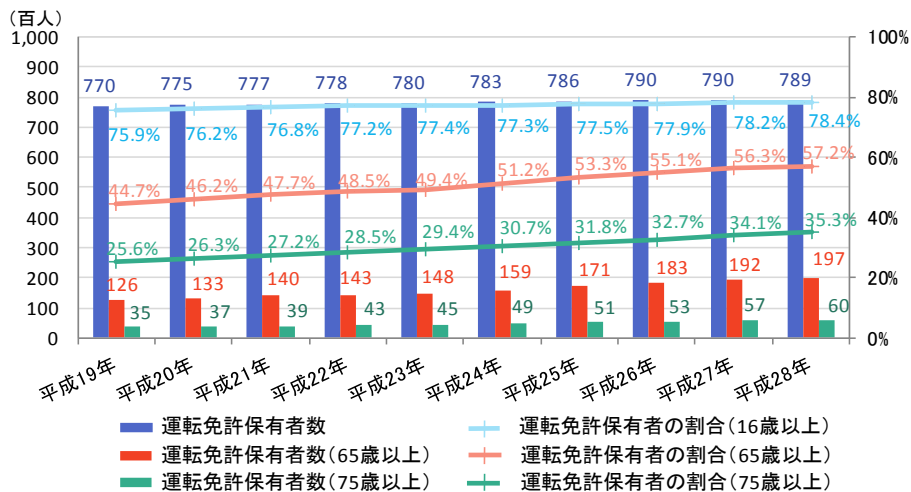
本市の自動車保有台数は増加傾向にあります。運転免許が取得可能な16歳以上の人口に占める運転免許保有率の推移をみると、ほぼ横ばいの状況ですが、高齢者の運転免許保有率は上昇しています。一方、運転免許返納者数は近年増加の傾向にあります。



※端数処理のため、合計値と各値の計が合致しない場合がある。

資料：山口県統計年鑑(各年3月末時点)

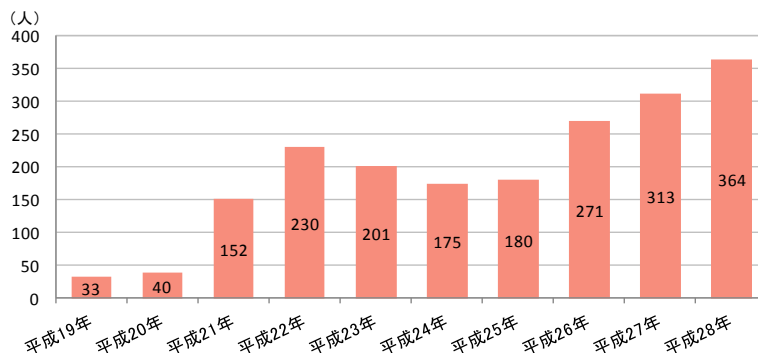
図表 6 自動車保有台数



※端数処理のため、合計値と各値の計が合致しない場合がある。

資料：山口県警察本部、防府市住民基本台帳(各年12月末時点)

図表 7 運転免許保有者数と保有割合



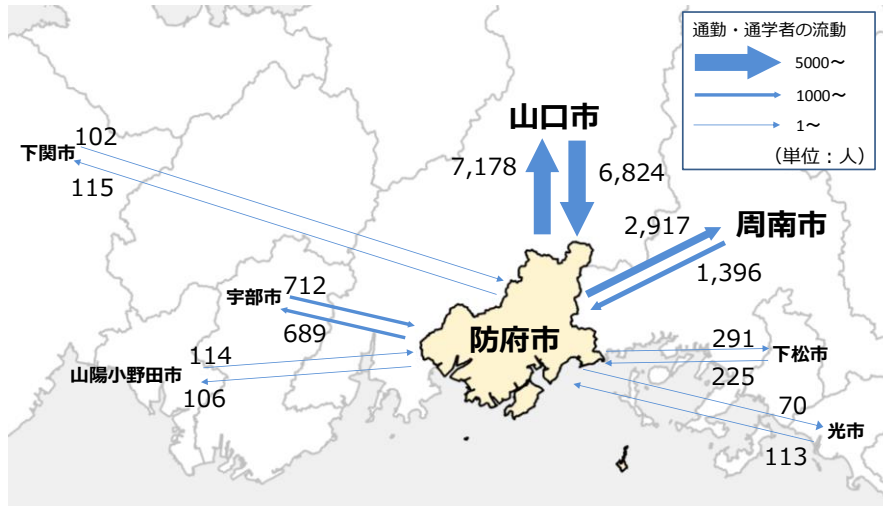
資料：山口県警察本部(各年12月末時点)

図表 8 運転免許返納者数

4. 通勤・通学流動と移動手手段

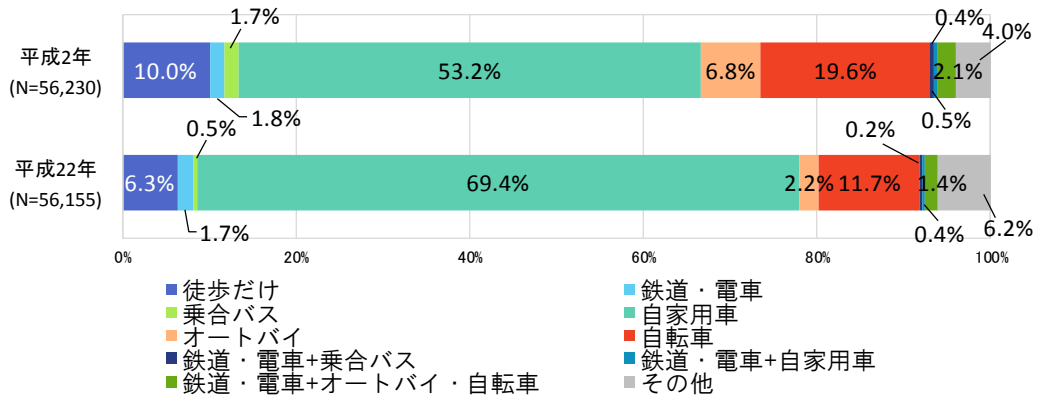
国勢調査によると、平成22年の本市から山口市への通勤・通学者は7,178人で、山口市から本市への通勤・通学者は6,824人となっており、周辺他市と比較すると本市とのつながりがきわめて強いことが分かります。

また、本市の通勤・通学において公共交通を利用する人の割合は4.3%で、全国平均や山口県平均と比較すると非常に低い状況です。一方、自家用車を利用する人の割合は69.4%で、平成2年国勢調査時と比較すると16.2%増加しており、自動車依存が高まっています。



資料: 平成22年国勢調査

図表9 通勤・通学流動



※自宅就業者及び交通手段不詳者を除く

資料: 平成2年、平成22年国勢調査

図表10 本市に常住する通勤・通学者の交通手段

	鉄道・電車	乗合バス	ハイヤー・タクシー	鉄道・電車+乗合バス	鉄道・電車+勤め先・学校のバス	鉄道・電車+自家用車	鉄道・電車+オートバイ	鉄道・電車+自転車	計
防府市	1.7%	0.5%	0.1%	0.2%	0.0%	0.4%	0.1%	1.3%	4.3%
山口県	2.9%	2.1%	0.1%	0.6%	0.0%	0.6%	0.1%	1.3%	7.5%
全国	16.1%	2.5%	0.1%	3.8%	0.3%	0.9%	0.3%	3.1%	27.1%

※「ハイヤー・タクシー」、「鉄道・電車+勤め先・学校のバス」は図表10では「その他」に分類

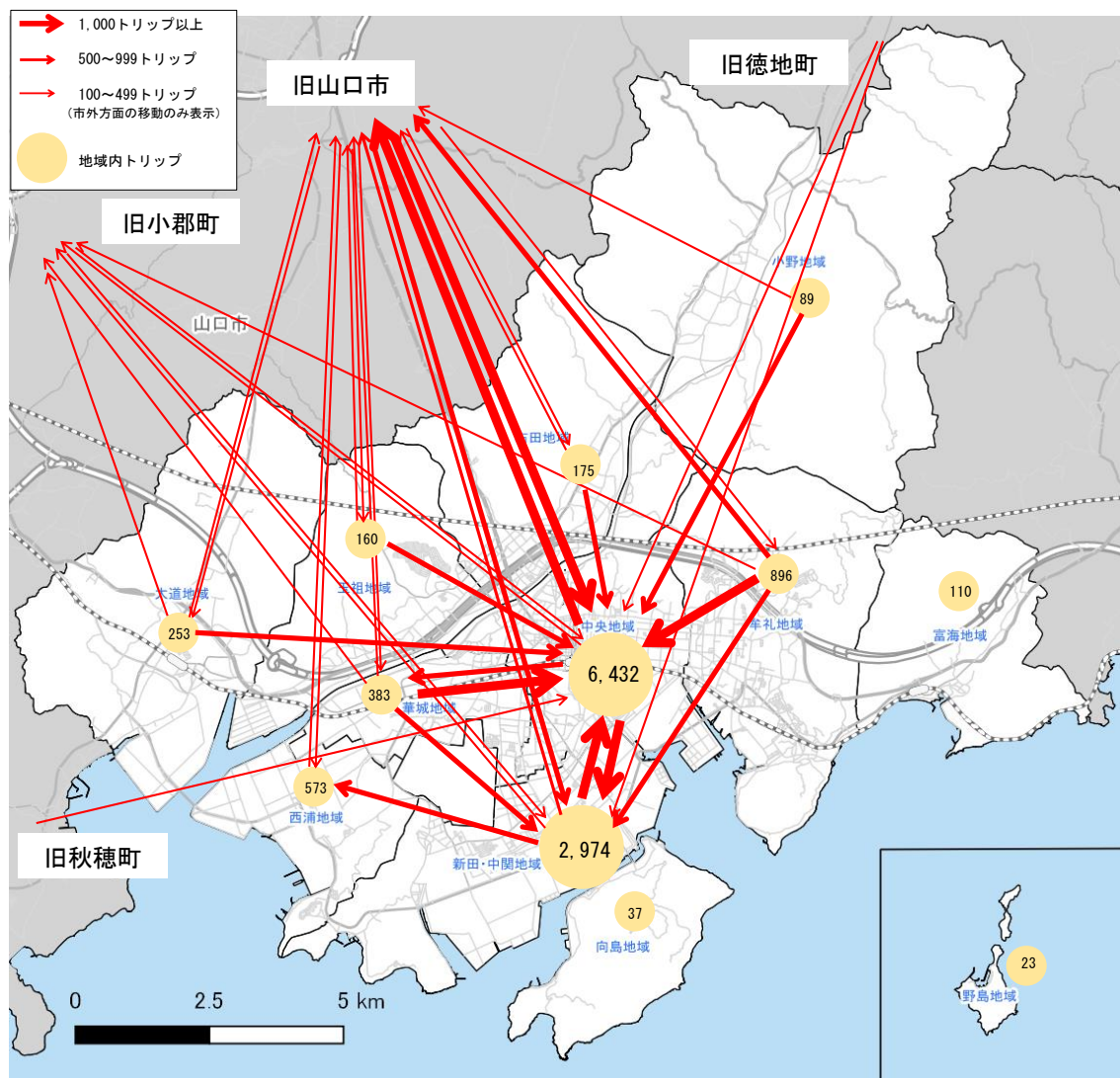
資料: 平成22年国勢調査

図表11 通勤・通学における公共交通の利用割合

5. 市民の移動実態

山口・防府都市圏パーソントリップ調査（平成 15 年度）によると、通勤目的のトリップでは市内の各地域から中央地域へのトリップ数が多く、新田・中関地域から西浦地域、牟礼地域及び華城地域から新田・中関地域間も 500 トリップ以上あります。また、富海地域、向島地域、野島地域を除く各地域から旧山口市へ 100 トリップ以上あります。

私用目的では、市内の各地域及び旧山口市から中央地域へのトリップ、地域内のトリップが多く、中央地域を除く市内の地域間では 500 トリップ未満となっています。

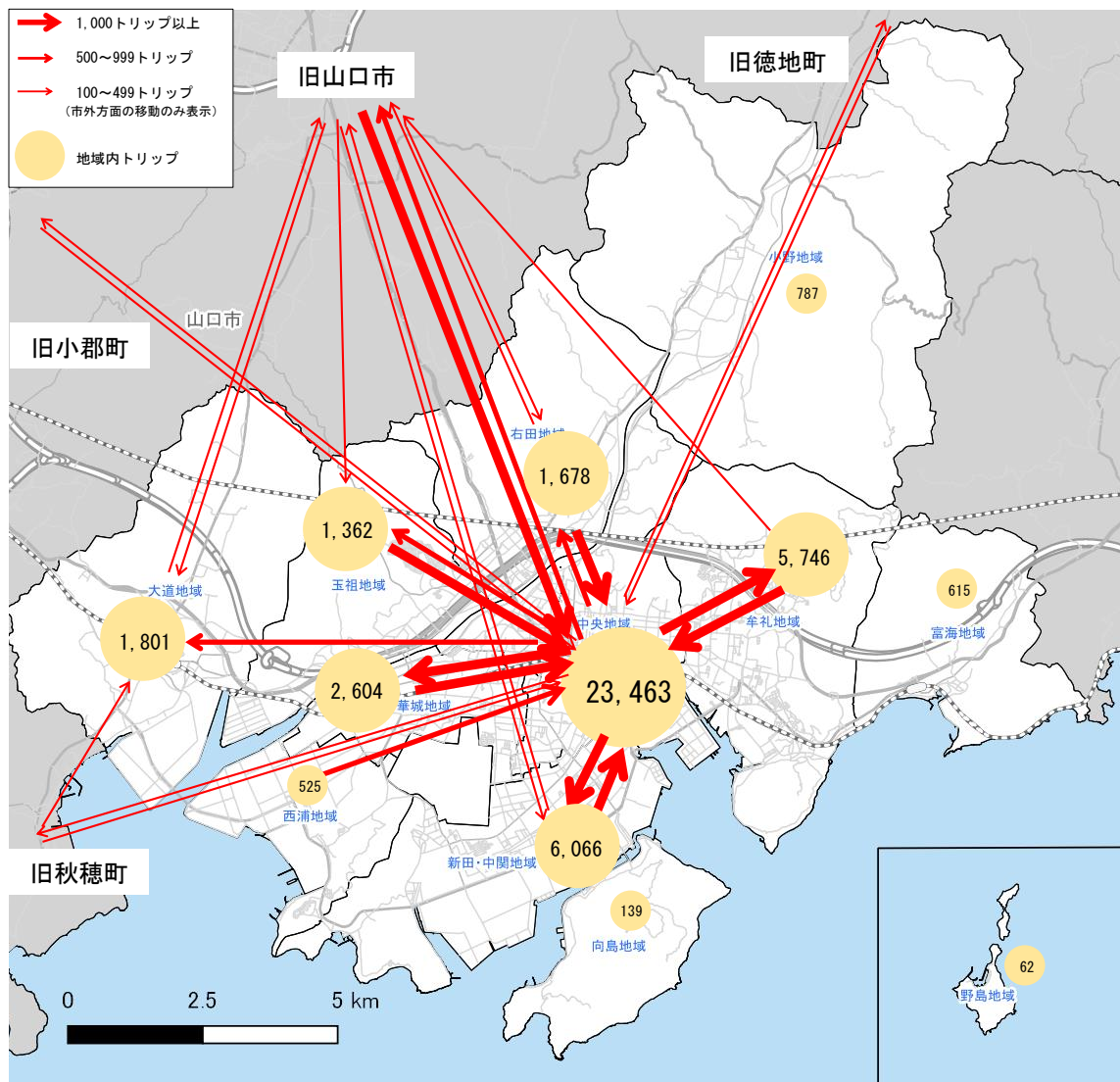


※市内の移動は 500 トリップ以上、市外への移動は 100 トリップ以上を掲載

資料:山口・防府都市圏パーソントリップ調査(平成 15 年度)

図表 12 通勤目的(全手段)のトリップ数

※トリップとは、ある目的を持って起点から終点へ移動する際の、一方向の移動を表す概念であり、その移動を定量的に表現する際の単位



※市内の移動は500トリップ以上、市外への移動は100トリップ以上を掲載

資料: 山口・防府都市圏パーソントリップ調査(平成15年度)

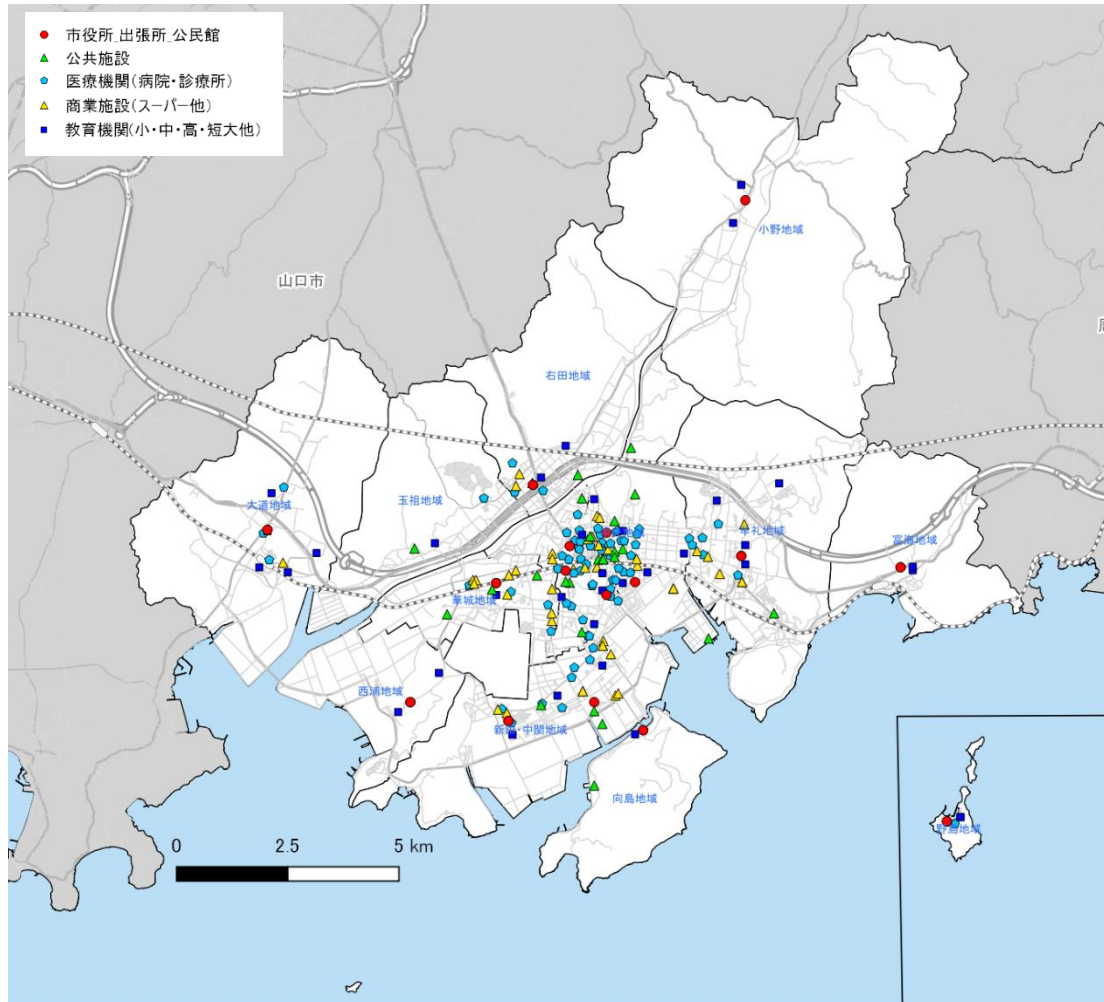
図表 13 私用目的(全手段)のトリップ数

コラム ~山口・防府都市圏パーソントリップ調査について~

平成15年度に学識経験者・交通事業者・関係行政機関により構成される山口・防府都市圏総合交通体系検討委員会において、防府市と山口市(旧山口市、旧徳地町、旧小郡町、旧秋穂町、旧阿知須町)を対象に、鉄道・バス・自動車等の交通手段がどのように利用されているかなど「人の1日の動き」を把握するための交通実態調査を行いました。調査時期は10年以上前になりますが、山口・防府都市圏における交通実態をみることができます。

6. 主な移動目的地の状況

市中央部に主な移動目的地となる公共施設、医療機関、商業施設、教育機関が集中しています。



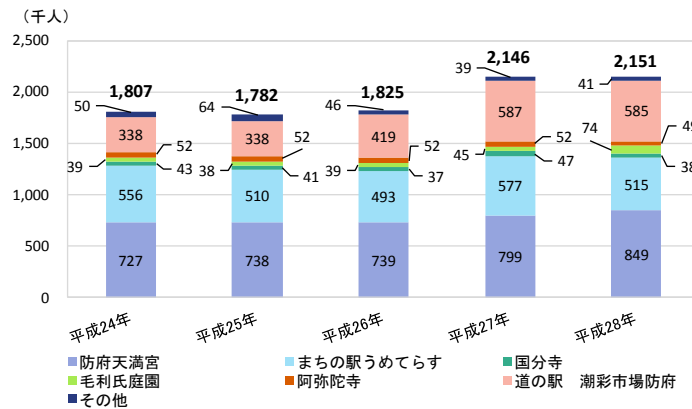
図表 14 主な移動目的地の状況

7. 観光動向

市内には、歴史・文化的資源や観光施設等の観光資源が点在しており、全体として観光客数は増加傾向にあります。中でも防府天満宮とまちの駅うめてらす、道の駅潮彩市場防府を訪れる観光客が大半を占めています。そのほか、周防国分寺や毛利氏庭園、阿弥陀寺などにも多数の観光客が訪れています。



図表 15 観光資源分布状況



資料：防府市おもてなし観光課「山口県観光客動態調査」基礎資料

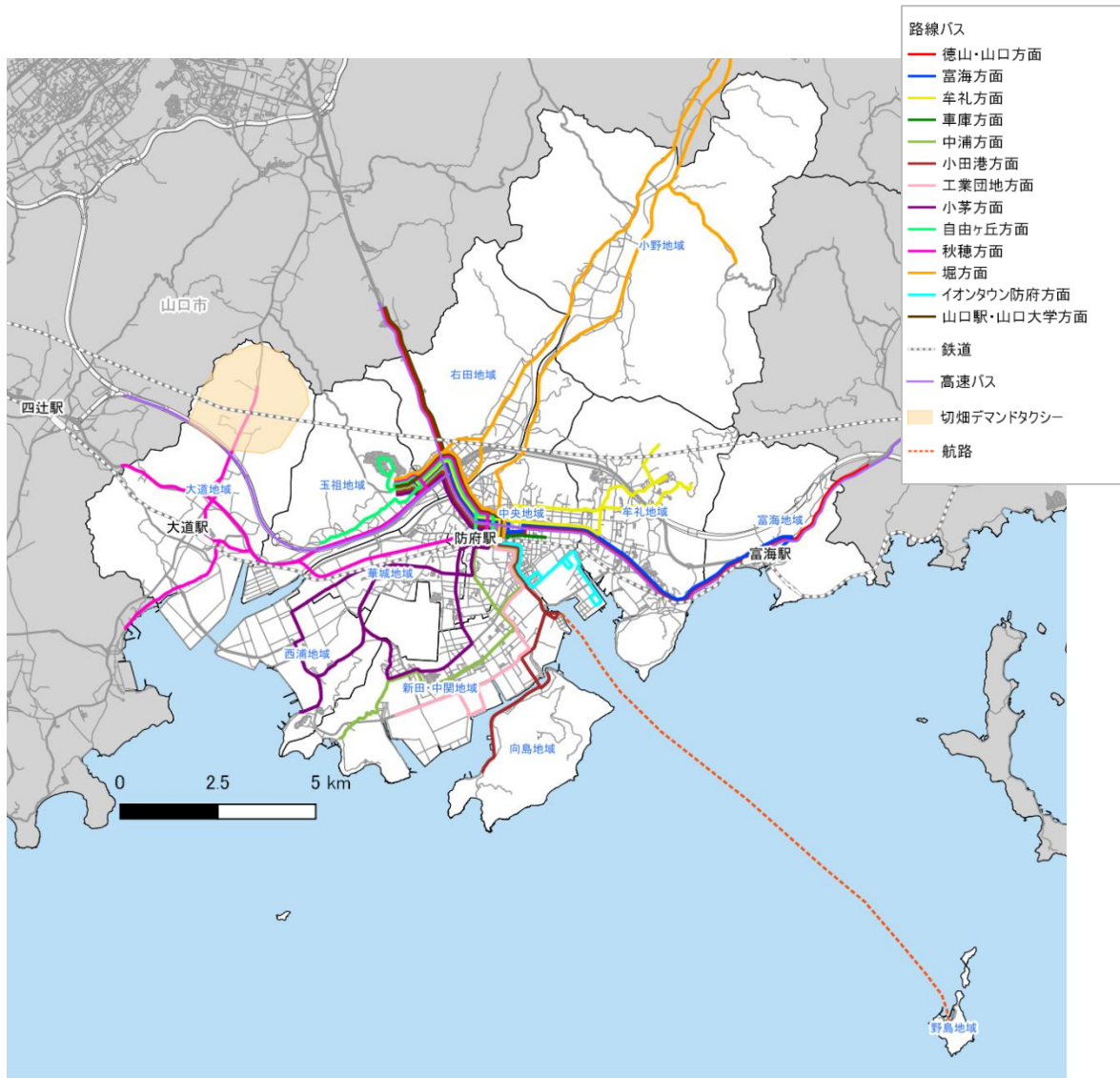
※端数処理のため、合計値と各値の計が合致しない場合がある。

図表 16 施設別観光客数

第4章 公共交通の状況

1. 公共交通網

本市の公共交通網は、鉄道、高速バス、路線バス、乗合タクシー、タクシー、離島航路で構成されています。

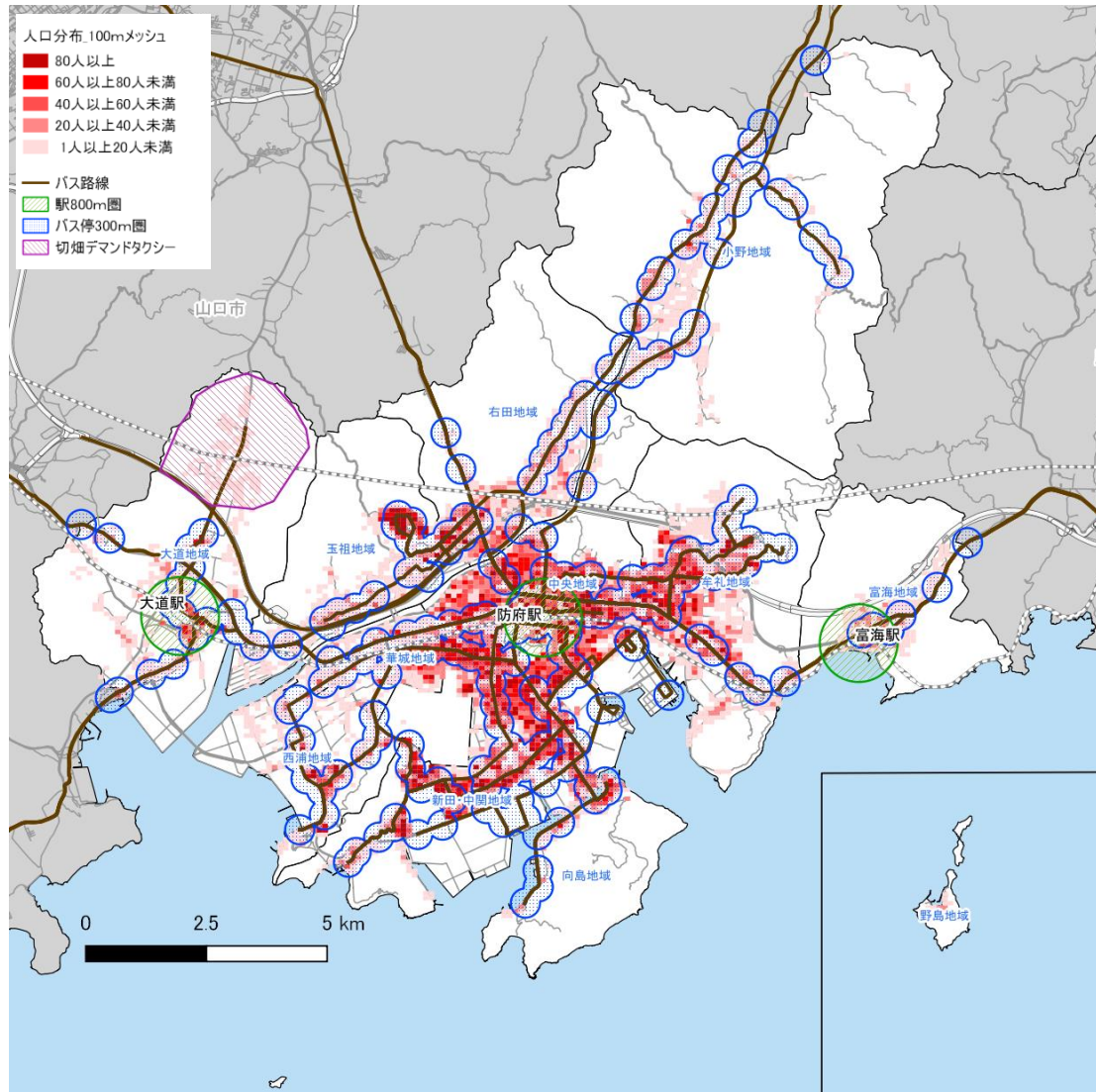


※タクシーは記載を省略
※平成 29 年 4 月時点

図表 17 本市における公共交通網

2. 公共交通の人口カバー率

公共交通（タクシーと離島航路を除く）を利用する目安として、鉄道駅から 800m以内、バス停から 300m以内のエリアを公共交通圏内とすると、公共交通圏内には約 8 万 2 千人が居住しており、公共交通の人口カバー率は 69.9%です。一方、公共交通圏外の人口は約 3 万 5 千人となり、公共交通圏外の人口比率は 30.1%となります。



資料：平成 22 年国勢調査(100m 人口メッシュ)

図表 18 公共交通（タクシーと旅客船を除く）の人口カバー状況

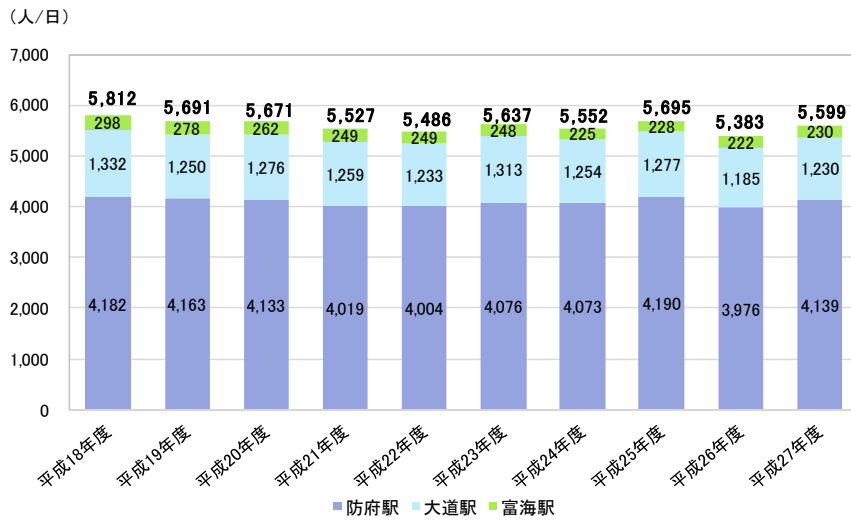
総人口	公共交通圏		公共交通圏外	
	圏内人口	人口比率	圏外人口	人口比率
116,611	81,550	69.9%	35,061	30.1%

図表 19 公共交通圏、公共交通圏外の人口及び人口比率

3. 鉄道

本市では、JR 山陽本線が上り・下りともに 1 時間に 1～2 本運行されています。防府駅、大道駅、富海駅の 3 駅があり、防府駅以外は無人駅です。

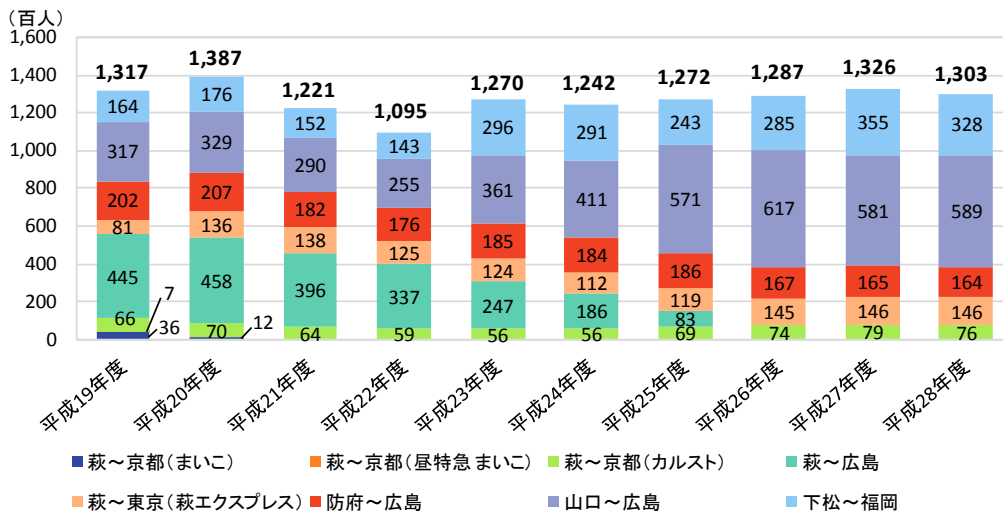
駅別の 1 日平均乗車人員の推移をみると、防府駅・大道駅ではほぼ横ばいの状況で、富海駅では微減しています。



資料：西日本旅客鉄道(株)広島支社・日本貨物鉄道(株)関西支社広島支店・山口県統計年鑑
 図表 20 駅別の 1 日平均乗車人員

4. 高速バス

防府市に関連する高速バスは、福岡県・広島県・関西・関東方面に連絡しており、現在は 5 系統が運行しています。近年の総利用者数は 10 年前と変わらない水準となっています。



※各値は、前年 10 月～9 月の実績
 ※端数処理のため、合計値と各値の計が合致しない場合がある。

資料：防長交通(株)

図表 21 高速バスの利用者数

5. 路線バス

(1) 運行状況

市内の路線バスは、防長交通株式会社と中国ジェイアールバス株式会社により 57 系統の路線バスが運行されています（平成 29 年 4 月時点）。このうち、本市と山口市または周南市を結ぶ広域系統が 24 系統あります。市内完結系統は 33 系統あり、そのほとんどが防府駅を起終点または経由しています。

また、これらのうち 19 系統が山口県立総合医療センターを経由しており、各地域から医療センターへの直行便も運行されています。



※平成 29 年 4 月時点

※防長交通(株)、中国ジェイアールバス(株)の時刻表を基に作成

図表 22 路線バスの運行便数

	方面	事業者	系統キロ	起点	経由地	終点	便数(平日) ※片道0.5便	
広域系統	徳山・山口方面	防長	49.7	湯田温泉	快) 防府駅	徳山駅前	1.5	
	徳山・山口方面	防長	27.1	防府駅前		徳山駅前	4.0	
	徳山・山口方面	防長	49.9	徳山駅前	快) ソレーネ・防府駅	湯田温泉	1.5	
	徳山・山口方面	防長	27.3	徳山駅前	ソレーネ	防府駅前	4.0	
	山口大学方面	中国JR	25.2	防府駅	ゆめタウン山口、県庁、湯田温泉通	山口大学	10.5	
	山口大学方面	中国JR	24.8	防府駅	県庁前、湯田温泉通	山口大学	1.5	
	山口大学方面	中国JR	24.8	防府駅	特急・県庁前、湯田温泉通	山口大学	0.5	
	山口大学方面	中国JR	28.4	防府駅	医療センター、ゆめタウン山口、県庁	山口大学	6.5	
	山口大学方面	中国JR	23.1	防府駅	ゆめタウン山口、湯田温泉通	山口大学	2.0	
	山口大学方面	中国JR	22.7	防府駅	市民会館、湯田温泉通	山口大学	0.5	
	山口駅方面	中国JR	18.1	防府駅	昭和町・ゆめタウン山口	山口駅	6.0	
	山口駅方面	中国JR	17.7	防府駅	昭和町	山口駅	1.0	
	山口駅方面	中国JR	21.0	防府駅	荒高・県庁	山口駅	0.5	
	中尾口方面	中国JR	27.8	防府駅	ゆめタウン山口、湯田温泉通	中尾口	3.0	
	中尾口方面	中国JR	31.0	防府駅	医療センター、ゆめタウン、県庁	中尾口	1.0	
	秋穂方面	防長	19.0	防府駅前		新山口駅	1.0	
	秋穂方面	防長	20.7	防府駅前	新山口駅	小郡第一病院前	4.0	
	秋穂方面	防長	17.3	秋穂漁港入口	中道浜	切畑	1.0	
	秋穂方面	防長	19.0	防府駅前	西高・秋穂総合支所	秋穂漁港入口	7.0	
	秋穂方面	防長	20.6	防府駅前	医療センター・バイパス	秋穂漁港入口	3.0	
	堀方面	防長	20.9	堀	中山	防府駅前	9.5	
	堀方面	防長	24.1	堀	中山・医療センター	防府駅前	1.0	
	堀方面	防長	21.8	防府駅前	中山・堀	佐波高校正門	1.0	
	堀方面	防長	18.8	堀	和字	防府駅前	6.5	
	市内完結系統	富海方面	防長	8.7	円通寺		防府駅前	0.5
		富海方面	防長	13.4	総合医療センター前	防府駅前	円通寺	0.5
		富海方面	防長	13.5	富海農協前	防府駅前	総合医療センター前	0.5
		牟礼方面	防長	6.6	防府駅前		大平山山麓駐車場	5.0
		牟礼方面	防長	10.8	総合医療センター前	防府駅前	大平山山麓駐車場	1.0
		牟礼方面	防長	5.3	防府駅前		上木部	2.0
		牟礼方面	防長	9.5	総合医療センター前	防府駅前	上木部	0.5
		牟礼方面	防長	7.6	防府駅前	新長尾団地	阿弥陀寺	8.0
		牟礼方面	防長	11.8	総合医療センター前	防府駅前・新長尾団地	阿弥陀寺	1.0
車庫方面		防長	1.7	防府駅前		車庫前	1.0	
久兼方面		防長	13.7	防府駅前	上真尾	久兼	3.5	
中浦方面		防長	10.1	防府駅南口	堀口	中浦	10.5	
中浦方面		防長	10.1	防府駅南口	市役所前	中浦	2.5	
中浦方面		防長	14.5	総合医療センター前	防府駅南口・市役所前	中浦	1.0	
中浦方面		防長	14.5	中浦	市役所前・防府駅前	総合医療センター前	1.0	
小田港方面		防長	8.9	防府駅南口		小田港	2.0	
小田港方面		防長	9.7	防府駅南口	三田尻港	小田港	2.0	
小田港方面		防長	14.1	総合医療センター前	防府駅南口・三田尻港	小田港	1.0	
小田港方面		防長	13.4	小田港	防府駅前	総合医療センター前	0.5	
工業団地方面		防長	9.4	工業団地東海カーボン前	鶴浜	防府駅南口	1.0	
小茅方面		防長	9.7	防府駅南口	石ヶ口・植松・開作	小茅	4.0	
小茅方面		防長	10.3	防府駅南口	寿町・晒石・華西中	小茅	5.0	
小茅方面		防長	8.8	防府駅南口	石ヶ口	小茅	4.0	
小茅方面		防長	13.2	総合医療センター前	防府駅南口・石ヶ口	小茅	0.5	
小茅方面		防長	13.2	小茅	石ヶ口・防府駅前	総合医療センター前	1.0	
自由ヶ丘方面		防長	4.2	防府駅前	右田	総合医療センター前	4.5	
自由ヶ丘方面		防長	7.8	防府駅前	医療センター	落合	3.5	
自由ヶ丘方面		防長	11.0	防府駅前	自由ヶ丘(循環)	防府駅前	11.0	
自由ヶ丘方面		防長	5.7	自由ヶ丘一丁目		防府駅前	1.5	
切畑方面		防長	12.3	切畑	大道駅	防府駅前	0.5	
イオンタウン防府方面		防長	3.3	防府駅南口		イオンタウン防府西	2.5	
イオンタウン防府方面		防長	3.8	イオンタウン防府西		防府駅南口	2.0	
イオンタウン防府方面		防長	6.0	防府駅南口	イオンタウン防府	潮彩市場	5.0	

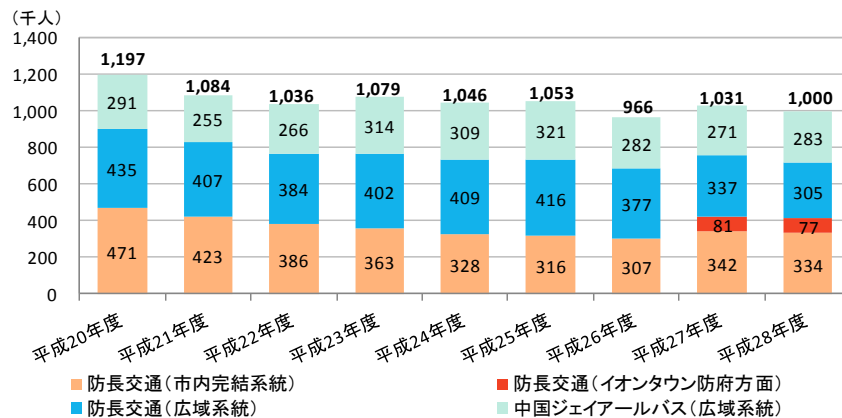
※平成 29 年 4 月時点

※佐波高校正門行きは登校日のみ運行、潮彩市場行きは潮彩市場の休館日(原則水曜日)はイオンタウン防府西まで運行

図表 23 路線バスの運行状況

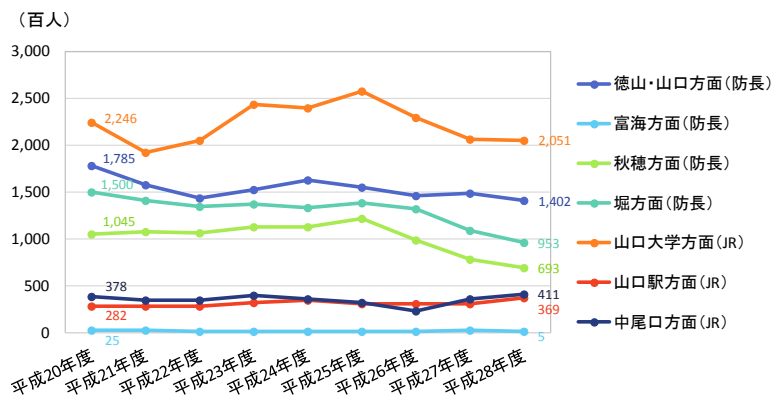
(2) 利用者数

平成 28 年度の路線バス総利用者数は約 100 万人で、平成 20 年度と比較すると約 16.5% 減少しています。広域系統、市内完結系統ともに全体として減少傾向にあります。

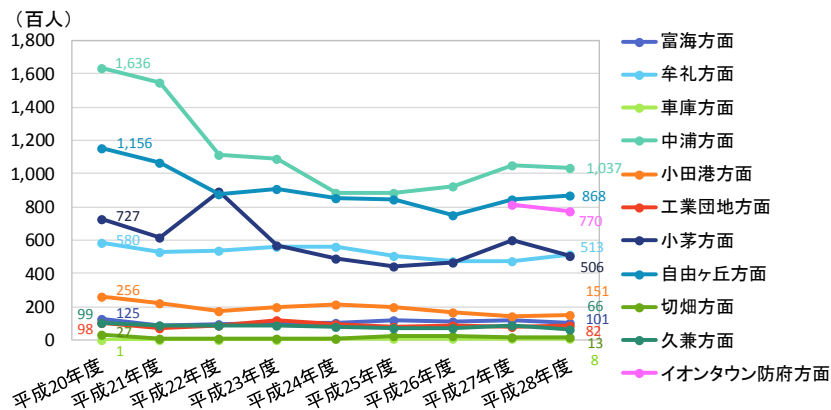


※端数処理のため、合計値と各値の計が合致しない場合がある。
 ※イオンタウン防府方面は平成 27 年度からデータに反映

図表 24 事業者別利用者数



図表 25 広域系統の利用者数



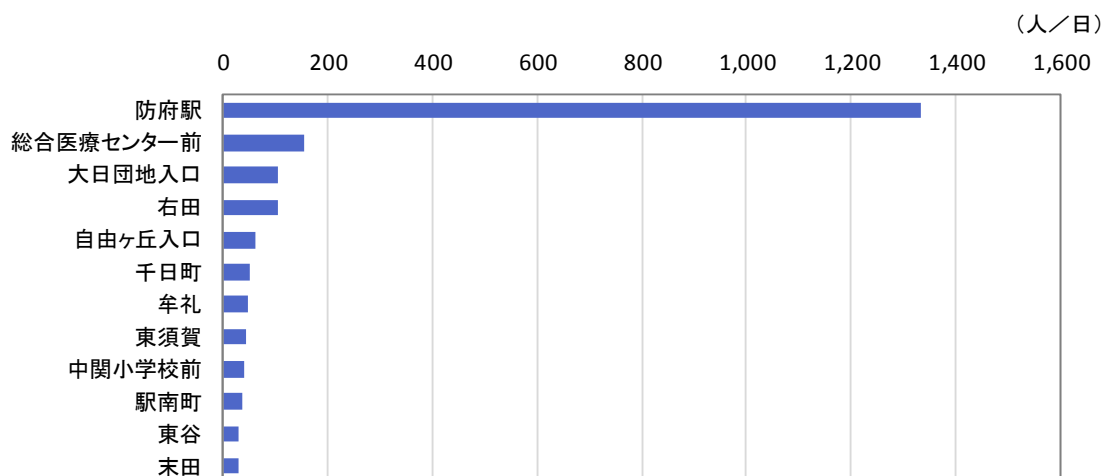
図表 26 市内完結系統の利用者数

資料: 防長交通(株)、中国ジェイアールバス(株)(図表 24~26)

(3) 利用の多いバス停

市内において、最も利用の多いバス停はバスターミナルのある「防府駅」で、次いで「総合医療センター前」の利用が多くなっています。

バス停間の移動状況をみると、「防府駅」は市内各地域との移動だけでなく、堀方面の移動も多くみられます。「総合医療センター前」は、市内各地域との直行便がありますが、「防府駅」以外のバス停との移動は少ない状況です。



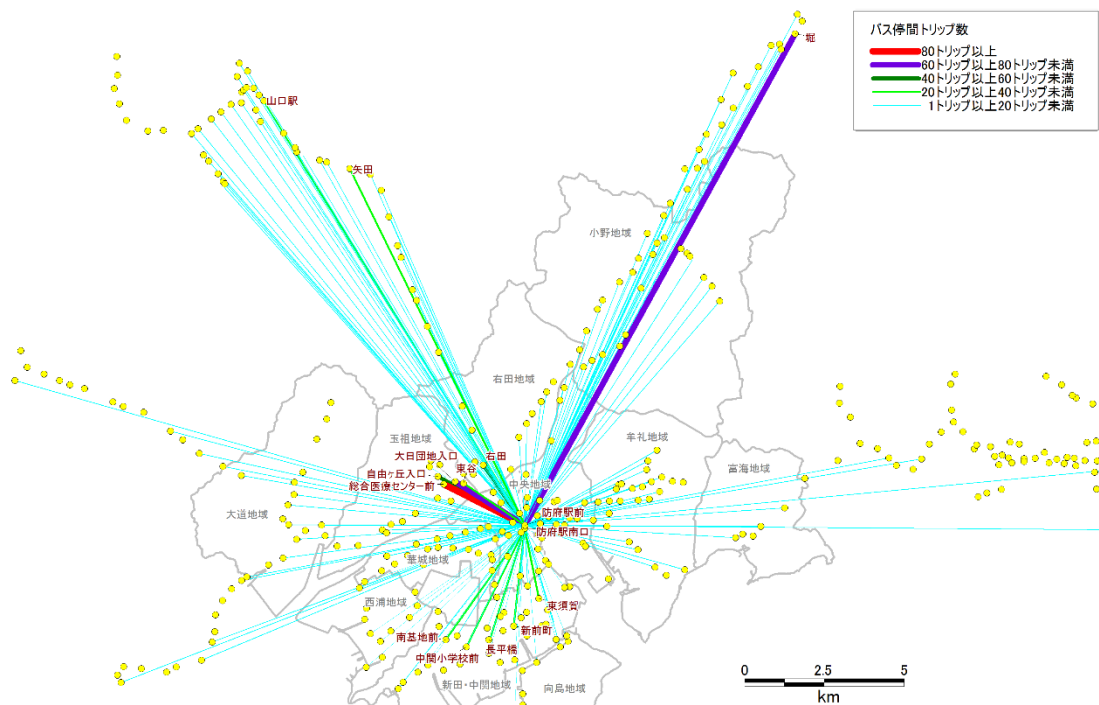
※イオンタウン防府方面の乗降データは含まない。

※1日の乗降者数が30人以上のバス停のみを掲載

※「防府駅」バス停は防長交通と中国ジェイアールバスが防府駅のバスターミナルで発着する全てのバス停を指す。

資料:平成28年度乗降調査(防長交通株、中国ジェイアールバス株)

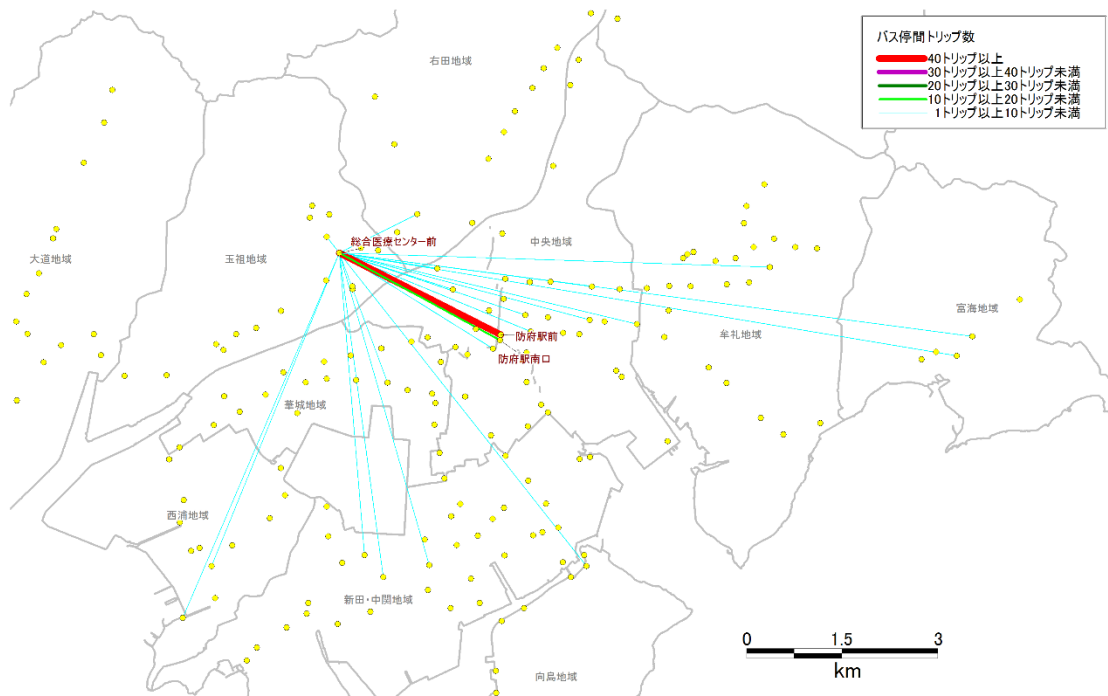
図表 27 1日のバス停別乗降者数



※イオンタウン防府方面の乗降データは含まない。

資料:平成28年度乗降調査(防長交通(株)、中国ジェイアールバス(株))

図表 28 「防府駅」で乗降する人のバス停間移動状況



※イオンタウン防府方面の乗降データは含まない。

資料:平成28年度乗降調査(防長交通(株)、中国ジェイアールバス(株))

図表 29 「総合医療センター前」で乗降する人のバス停間移動状況

(4) 収支状況

平成 28 年度は、市内を運行する 51 系統のうち、42 系統で欠損（経常収支率が 100% 未満）が生じています。

秋穂方面、車庫方面、久兼方面、切畑方面で平均経常収支率が 40% を下回っています。

方面		経常収支率						平均
		20%未満	20%以上 40%未満	40%以上 60%未満	60%以上 80%未満	80%以上 100%未満	100%以上	
広域 系統	徳山・山口方面			2				48.9%
	山口大学方面			1	3		1	63.0%
	山口駅方面			1	1		1	74.2%
	中尾口方面				1			63.9%
	秋穂方面		4	1				33.7%
	堀方面			1	2		1	58.8%
市内 完結 系統	富海方面			1			2	98.8%
	牟礼方面		1	2	1	2		52.4%
	車庫方面	1						2.5%
	久兼方面		1					38.4%
	中浦方面				2	1	1	77.7%
	小田港方面	1		1	1	1		43.4%
	工業団地方面			1			1	92.9%
	小茅方面			1	3		1	64.0%
	自由ヶ丘方面				2	1	1	86.9%
切畑方面	1						17.2%	
系統数の計		3	6	12	16	5	9	—
構成比		5.9%	11.8%	23.5%	31.4%	9.8%	17.6%	—

※平成 28 年度実績

※平成 28 年 9 月時点で運行の 61 系統のうち、平成 29 年 4 月時点で運行されていない 7 系統及びイオンタウン方面の 3 系統を除く 51 系統が対象

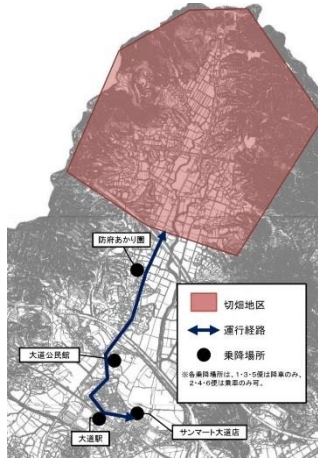
資料：防長交通(株)、中国ジェイアールバス(株)

図表 30 方面別の経常収支率と系統数、平均経常収支率

6. 乗合タクシー

(1) 運行状況

平成 27 年 4 月から、既存の公共交通の補完を図ることを目的に、切畑地区と大道駅等の目的地を結ぶ乗合タクシーを運行しています。

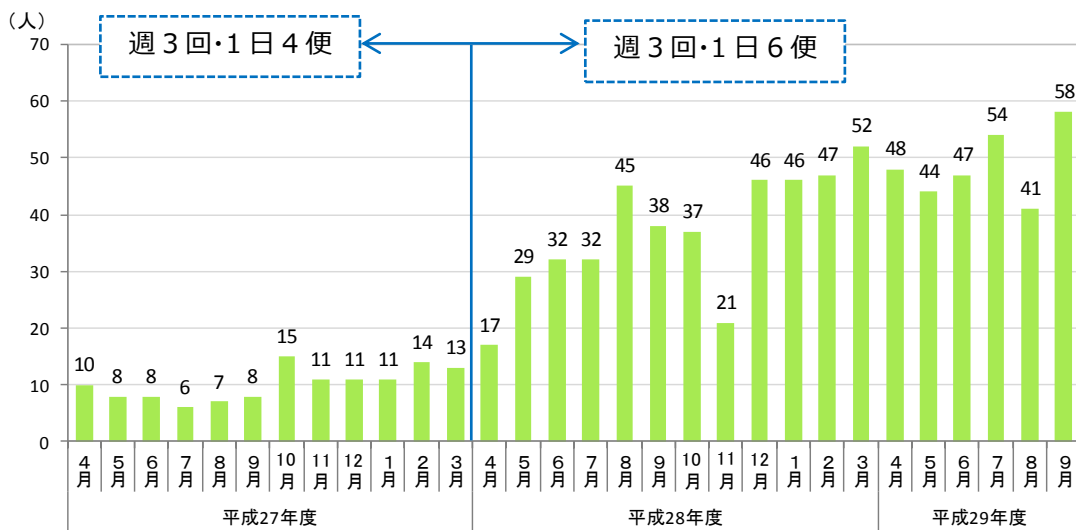


項目	運行概要
名称	切畑デマンドタクシー
運行区間	切畑地区⇄防府あかり園、大道公民館、大道駅、サンマート大道店
利用方法	事前に登録を行い、電話等により予約 (予約は 1 時間前まで可)
運行日	月・水・金 (12 月 29 日～1 月 3 日は運休)
ダイヤ	行き： 9:00 (1 便) 10:30 (3 便) 13:00 (5 便) 帰り： 10:00 (2 便) 11:30 (4 便) 16:00 (6 便)
運賃	200 円 (中学生以上) ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳保有者、小学生は 100 円 ※幼児は保護者同伴につき無料

図表 31 運行エリアと運行概要

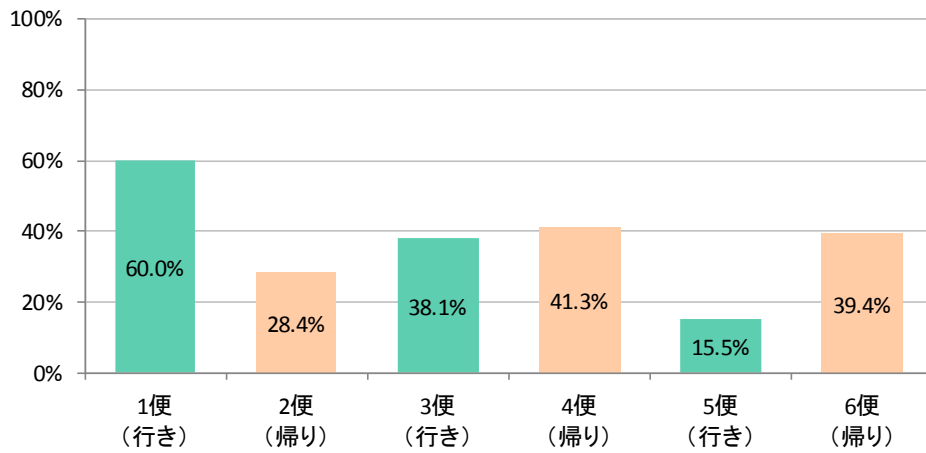
(2) 利用状況

平成 28 年度に 1 日 4 便から 6 便に増便するとともに、サンマート大道店及び大道公民館を乗降場所として追加したこと等により、利用者が大幅に増加しています。行き 1 便の稼働率 (利用日数/利用可能日数) が 60.0% と最も多く、その他の便は 10~40% 程度の稼働率にとどまっています。また、1 便あたりの平均乗車人員は、2 人未満で、1 人で乗車するケースが多い状況です。



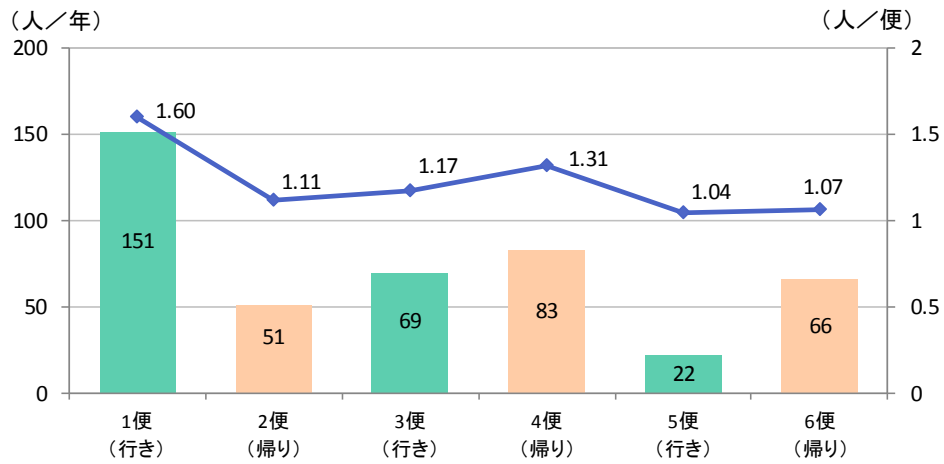
資料：防府市総合政策課

図表 32 利用者数の推移



※平成 28 年度実績

図表 33 便別稼働率 (利用日数/利用可能日数)



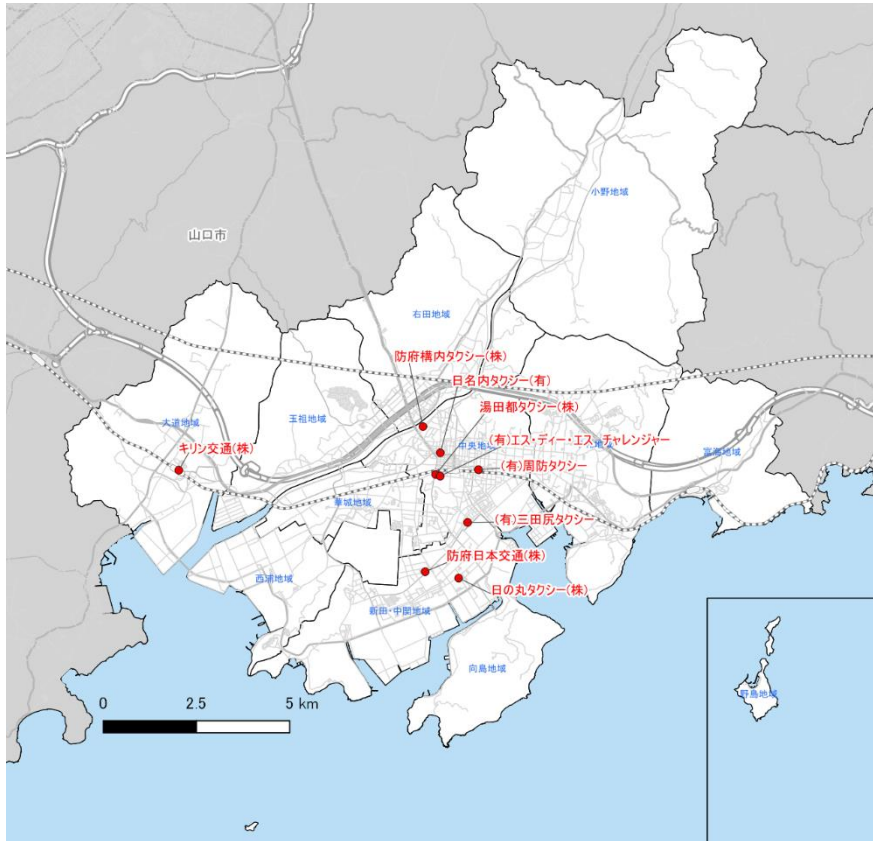
※平成 28 年度実績

図表 34 便別の利用者数、平均乗車人員

7. タクシー

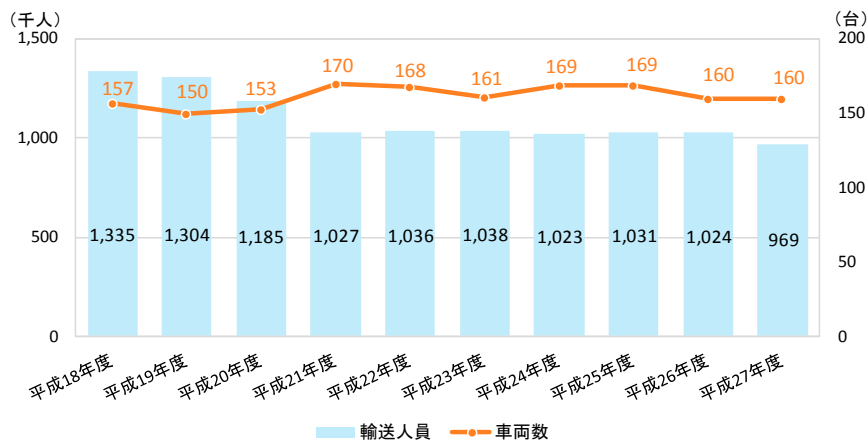
市内に営業所を構えるタクシー事業者は 9 社あり、野島地域を除き市内全域でタクシーの利用が可能となっています。

また、本市は準特定地域の指定を受けており、タクシー車両数は 160 台前後で推移しています。輸送人員については過去 10 年間で約 27.4%減少しています。



※準特定地域とは、「特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」により、タクシー事業が供給過剰となるおそれがあると国土交通省に認められた地域

図表 35 タクシー事業者の主たる営業所



資料：中国運輸局「運輸要覧」

図表 36 タクシー輸送人員と車両数

8. 離島航路

(1) 運航状況

野島港と三田尻港を結ぶ野島～三田尻航路は、旅客船「レインボーあかね」で1日4往復運航されています。

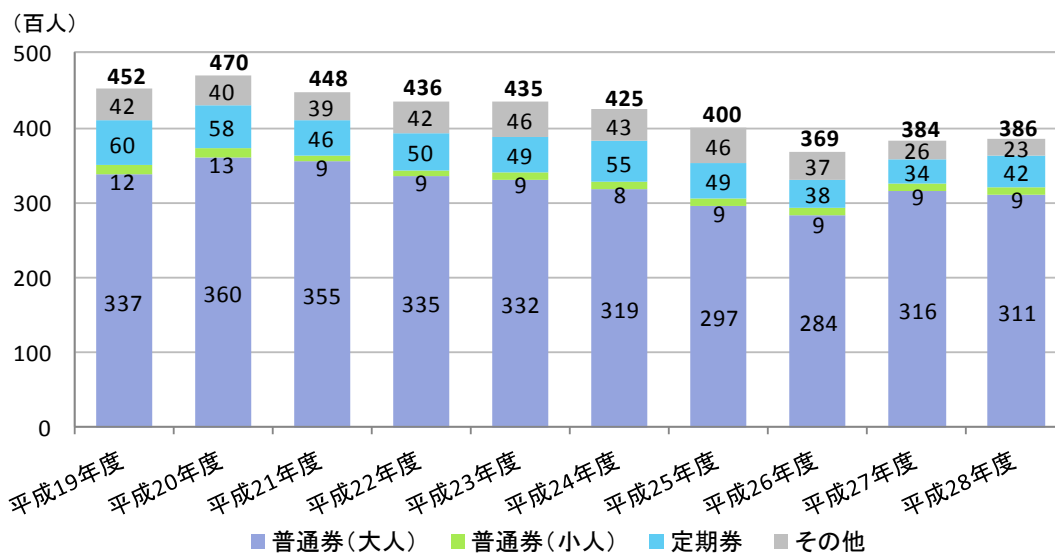


レインボーあかね

図表 37 航路と運航概要

(2) 利用状況

利用者は年間 4 万人台で推移していましたが、島民人口の減少及び高齢化に伴い、平成 26 年度以降は 3 万人台となっています。



※各値は、前年 10 月～9 月の実績

※端数処理のため、合計と各値の計が合致しない場合がある。

資料：防府市市民活動推進課

図表 38 券種別利用者数

(3) 路線バスとの乗継状況

野島～三田尻航路は、三田尻港で路線バスと接続しており、15分以内に乗り継ぎができるのは8便中5便となっています。野島～三田尻航路改善計画の策定に当たり実施した島民アンケートの結果によると、「船が遅延した場合、路線バスに乗り継げない」といった自由意見がみられます。

なお、野島港、三田尻港には、いずれも待合施設が整備されています。

	野島港→三田尻港			三田尻港→野島港		
	航路	路線バス (防府駅行)	乗継時間	路線バス (防府駅発)	航路	乗継時間
	三田尻港着	三田尻港前発		三田尻港前着	三田尻港発	
1便	7:00	7:05	0:05	—	8:30	—
2便	10:00	10:08	0:08	12:18	12:30	0:12
3便	14:00	14:53	0:53	14:18	14:30	0:12
4便	17:00	—	—	17:33	17:45	0:12

※平成29年4月1日時点

図表 39 航路と路線バスの乗継状況



野島港の待合施設



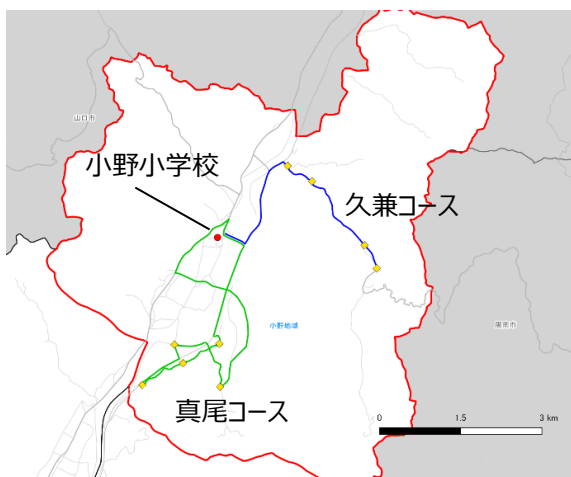
三田尻港の待合施設

9. 移動支援

(1) 通学支援

① スクールバス

小野小学校に通学する久兼・真尾地区の児童を対象に、スクールバスを運行しています。



項目	運行概要		
対象者	・久兼地区の全児童 ・真尾地区の1～3年生 ※真尾地区の4～6年生については、 12～2月のみ対象		
便	行き	月～金	2便 ・久兼コース 1便 ・真尾コース 1便
	帰り	月・火 木・金	2便 ・低学年 1便 ・高学年 1便
		水	1便

※土、日、祝日においても学校行事にあわせて運行する場合があります。

資料：防府市教育委員会

図表 40 スクールバスの運行経路と運行概要（平成 29 年度）

② 運賃助成

市内の児童・生徒を対象に各種通学費を助成しています。

項目	野島・三田尻定期航路通学定期運賃助成
対象者	高等学校等に在学する野島出身の生徒
助成内容	野島～三田尻航路通学定期の運賃を全額助成

項目	野島小・中学校の児童・生徒通学費助成
対象者	野島小・中学校に通学区域外から通学する児童・生徒
助成内容	通学にかかる野島～三田尻航路の運賃を 1/2 助成

項目	富海小・中学校の児童・生徒通学費助成
対象者	富海小・中学校に通学区域外から通学する児童・生徒
助成内容	通学にかかる運賃を 1/2 助成

項目	向島小学校の児童通学費助成
対象者	向島小学校に通学区域外から通学する児童
助成内容	通学にかかる運賃を 1/2 助成

図表 41 運賃助成の概要

(2) 心身障害者福祉タクシー助成事業

心身障害者の日常生活の利便性と社会活動の範囲を拡大し、福祉の向上を図ることを目的に、タクシー料金の一部を助成しています。

項目	心身障害者福祉タクシー助成事業
対象者	市内に住所を有する心身障害者及び市内の入所施設（障害者支援施設など）に入所している心身障害者で、以下に該当する者 (1) 身体障害者 身体障害者手帳1～3級の所持者 (2) 知的障害者 療育手帳Aの所持者 (3) 精神障害者 精神障害者保健福祉手帳1級の所持者
助成内容	・ 1枚につき500円の助成 ・ 原則として年間50枚（1冊）を限度に交付（人工透析についてはこの限りでない）
利用状況	・ 44,812枚（平成28年度）
申請者数	・ 2,006人（平成28年度）

図表 42 事業の概要

(3) 高齢者等外出支援助成事業

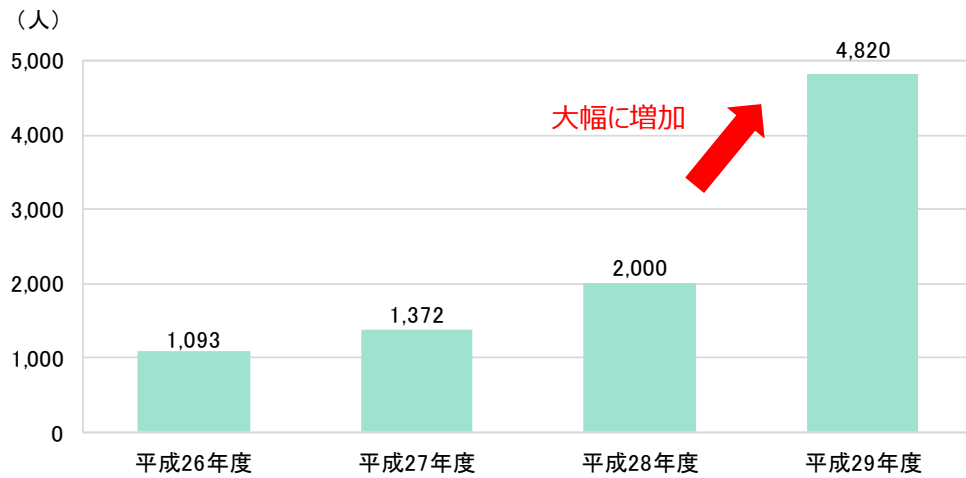
高齢者等の外出を促すことを目的として、路線バス及びタクシーの運賃の一部を助成しています。平成 29 年 4 月から対象者・助成額を見直し、これによって申請者及び助成額が大幅に増加しています。

項目	高齢者外出支援制度（平成 28 年度）
対象者	以下、①から⑤の要件の全てに該当する者 ①75 歳以上の人 ②市民税非課税の人 ③自動車を運転していない人 ④心身障害者福祉タクシー利用券の交付対象者でない人 ⑤介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、病院等に入所・入院していない人
助成内容	以下、(1) から (3) のいずれかを選択 (1) バスのみ：年間最大 72 枚交付 (2) タクシーのみ：年間最大 24 枚交付 (3) バスとタクシー：年間最大バス 36 枚、タクシー 12 枚交付 ※バス：1 乗車につき、1 枚 100 円の助成 ※タクシー：1 乗車につき、1 枚 300 円の助成

対象者・助成額の拡大

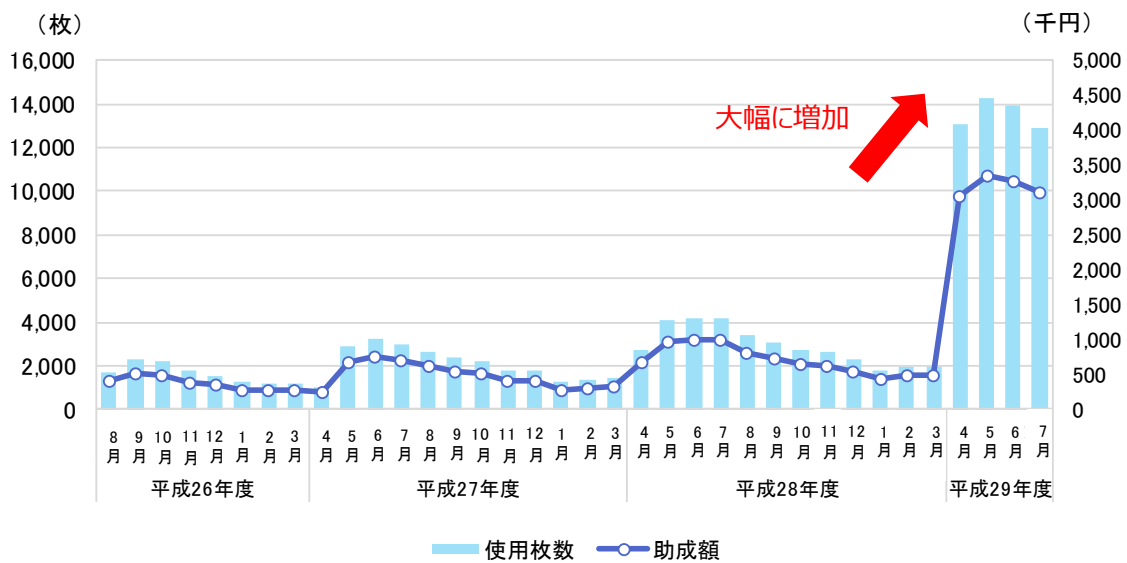
項目	高齢者等外出支援助成事業（平成 29 年度）
対象者	以下、①から③の要件のいずれかに該当する者 ①70 歳以上で運転免許証を持っていない人 ②65 歳以上で運転免許証を自主返納した人 ③心身障害者福祉タクシー利用券（福祉タクシー助成）の交付対象者 ※福祉タクシー助成と当制度のいずれか一方のみの助成を選択
助成内容	以下、(1)、(2) のいずれかを選択 (1) バス・タクシーどちらにも利用できる助成券 ・バス：1 枚につき運賃 200 円引き ・タクシー：1 枚につき運賃 2 割引き（1,000 円以下の場合は 200 円引き） ・年間最大 48 枚交付 (2) バスのみに利用できる助成券 ・1 枚につき運賃 100 円引き ・年間最大 96 枚交付

図表 43 事業の概要



※平成29年度は7月末時点の実績値

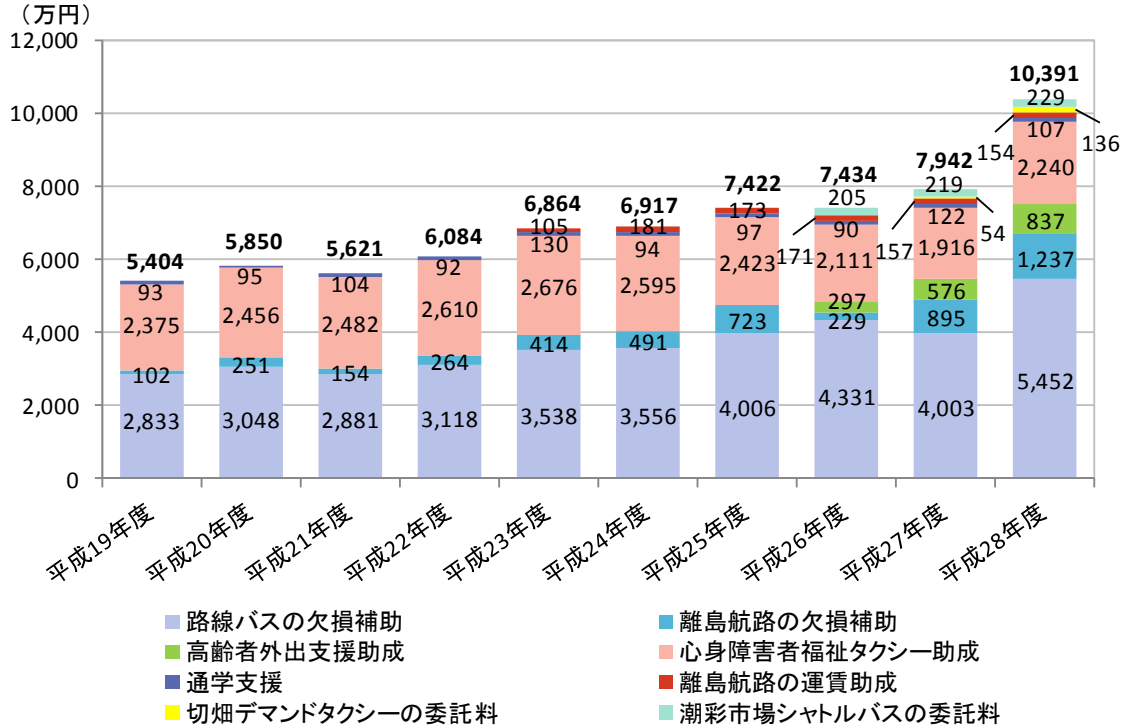
図表 44 申請者数の推移



図表 45 助成券の使用枚数と助成額の推移

10.市の財政負担

公共交通に関する市の財政負担は、平成28年度で約1億4百万円となっています。中でも、路線バスの欠損補助の割合は高く、補助額も年々増加しています。



※端数処理のため、合計値と各値の合計が合致しない場合がある。

※通学支援は、スクールバスの運行費用と野島・三田尻定期航路通学定期運賃助成、野島小・中学校の児童・生徒通学費助成、富海小・中学校の児童・生徒通学費助成の計

図表 46 市の財政負担

第5章 公共交通に関する各種調査結果

1. 各種アンケート調査の概要

アンケート種別	目的	対象者	調査時期 調査日	回答数 (回答率)
市民※	日常生活における移動実態や移動手段、公共交通の利用実態や改善ニーズの把握	満18歳以上の市民から無作為に抽出した 3,000人	H28.11~12	1,195人 (39.8%)
民生委員	市民アンケートでは把握できない移動制約者等の実態の把握	市内の民生委員 220人	H29.6	191人 (86.8%)
高校生	通学手段、マイカー送迎等の実態、公共交通サービス改善による利用の可能性の把握	防府高校、防府西高校、防府商工高校、誠英高校、高川学園高校の2年生及びその保護者 1,094組	H29.5~6	895組 (81.8%)
事業所	従業員の就業状況や通勤における移動実態の把握、公共交通を利用した通勤の可能性等の把握	市内の沿岸部に位置する、22の大規模事業所	H29.6	18事業所 (81.8%)
県立総合医療センター	主な移動目的地となる県立総合医療センターへの移動実態の把握	県立総合医療センターの来院者（ヒアリング形式で実施）	H29.6.14(水)	286人
観光客	観光客の公共交通利用実態と改善ニーズの把握	防府駅を訪れた観光客	H29.9.23(土)	42人

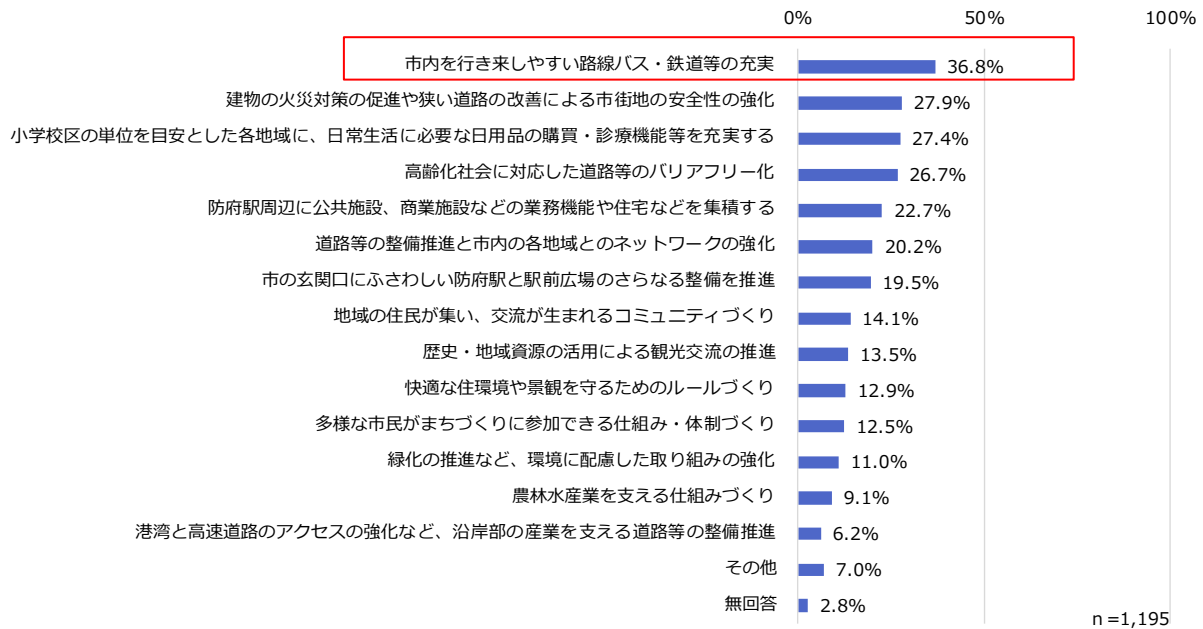
※都市計画マスタープラン更新にかかる市民アンケート調査結果から分析

図表 47 各種アンケート調査の概要

2. 市民アンケート調査結果

(1) まちづくりの方向性

まちづくりを進めていく上で重要な取組として、「市内を行き来しやすい路線バス・鉄道等の充実」の割合が最も多くなっています。



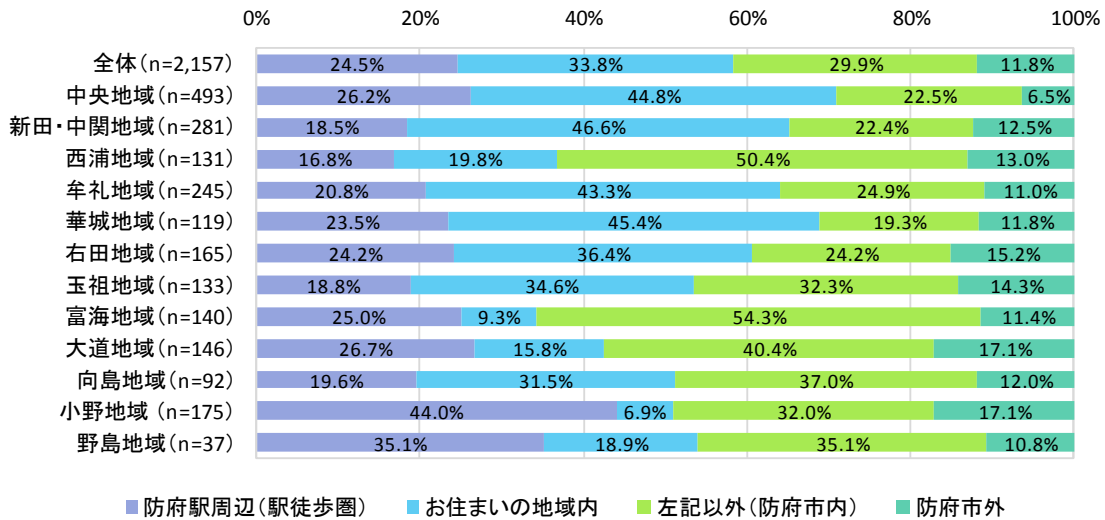
(3つまで回答可)

図表 48 まちづくりを進めていく上で重要な取組

(2) 買物・通院の主な移動先

① 食料品・日用品店舗（スーパー等）

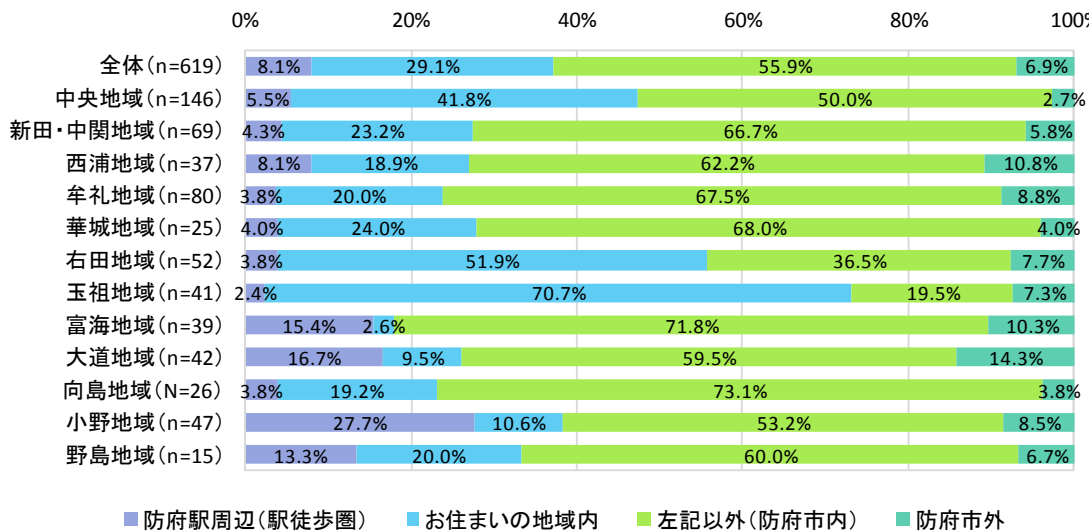
スーパー等への移動は、各地域 15%以上が「防府駅周辺（駅徒歩圏）」で、富海地域、小野地域は「お住まいの地域内」の割合が 10%未満となっています。



図表 49 地域別の移動状況（スーパー等）

② 総合病院

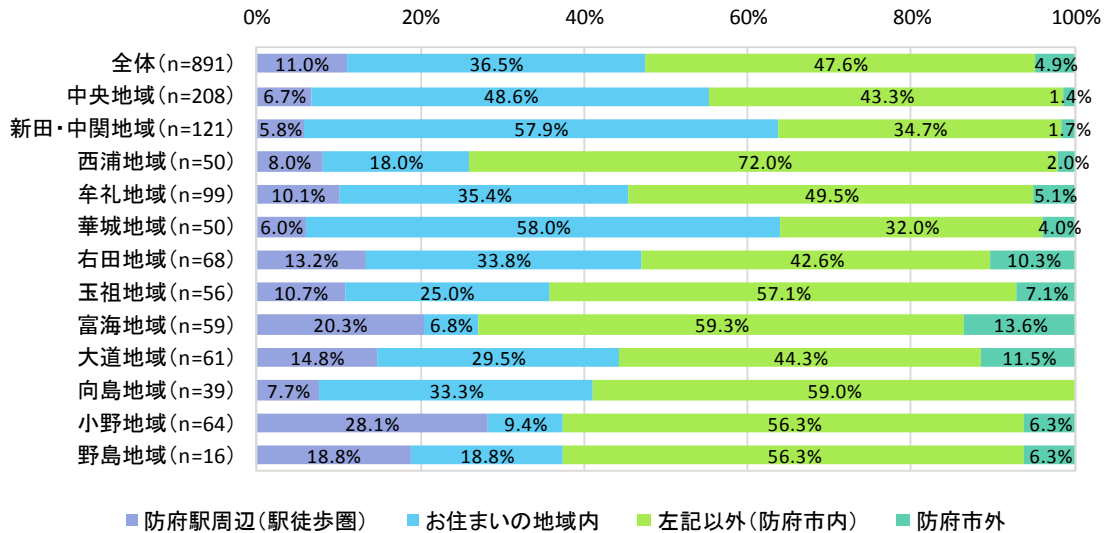
総合病院への移動は、中央地域、右田地域、玉祖地域の 40%以上が「お住まいの地域内」で、富海地域、大道地域、小野地域、野島地域の 10%以上が「防府駅周辺（駅徒歩圏）」となっています。



図表 50 地域別の移動状況（総合病院）

③ 医院・診療所

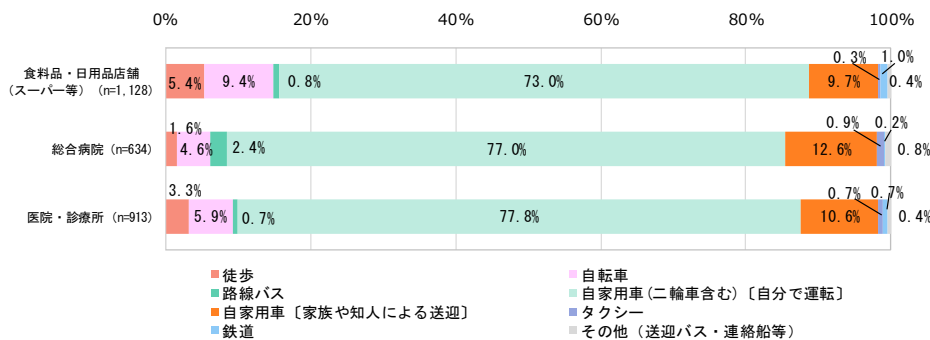
医院・診療所への移動は、中央地域、新田・中関地域、華城地域を除く地域で「お住まいの地域内」の割合が40%未満となっています。



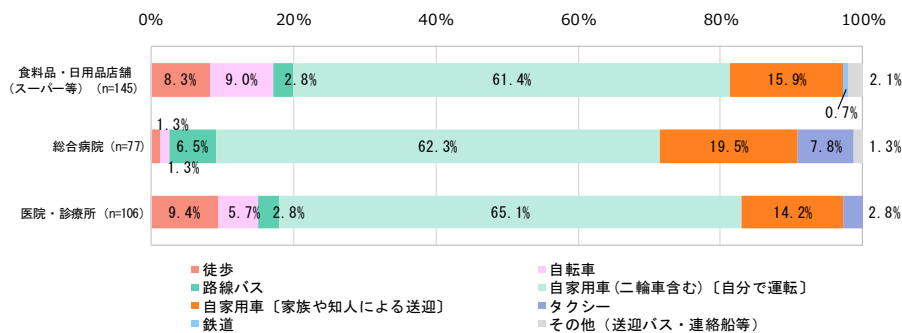
図表 51 地域別の移動状況（医院・診療所）

(3) 買物・通院の主な移動手段

買物・通院の主な移動手段は自家用車の割合が高く、70%を超えています。65歳以上でも自家用車の割合は60%を超えており、路線バスの割合は10%未満となっています。



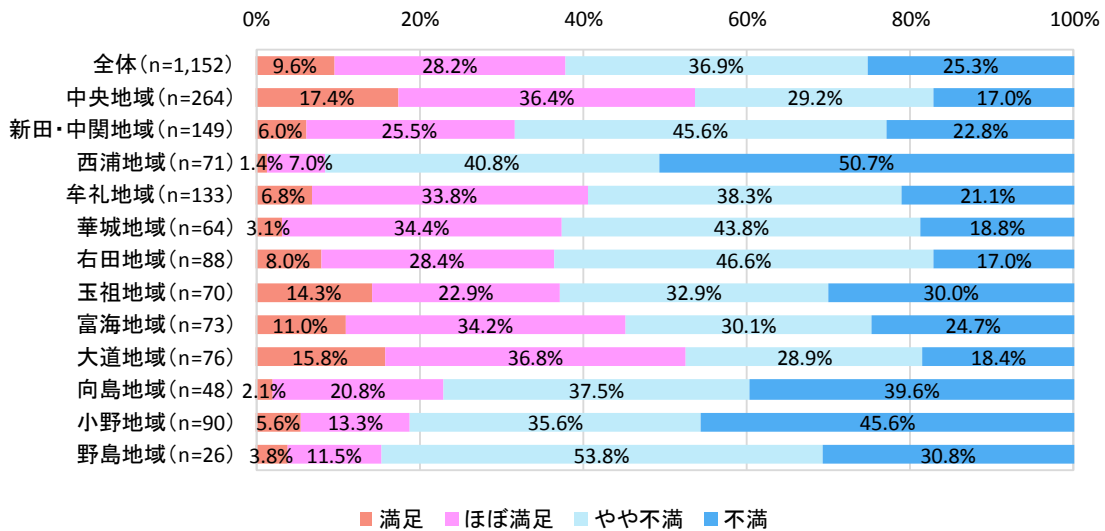
図表 52 買物・通院の主な移動手段（全年齢）



図表 53 買物・通院の主な移動手段（65歳以上）

(4) 公共交通の利便性に対する満足度

中央地域と大道地域以外では、「やや不満」、「不満」の割合は50%を超えており、特に西浦地域や小野地域、野島地域の満足度が低い状況です。

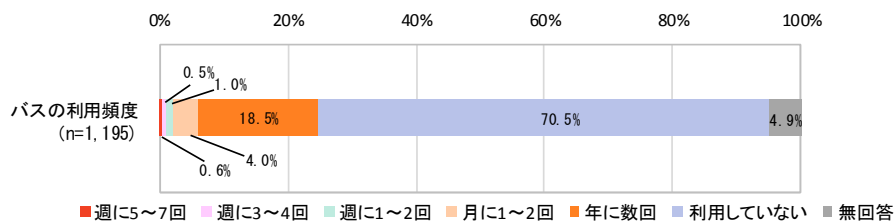


図表 54 地域別の公共交通（バス・鉄道）の利便性に対する満足度

(5) 公共交通の利用頻度

① 路線バス

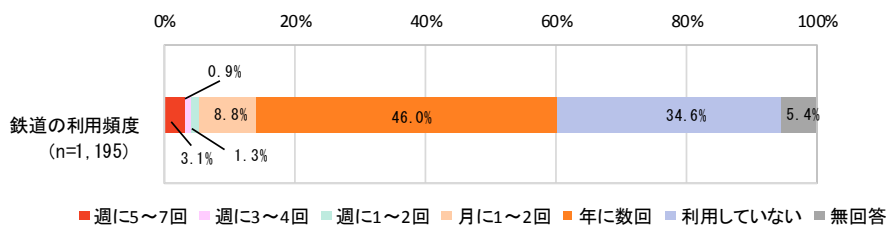
路線バスの利用頻度は、「利用していない」の割合が70.5%で最も多く、次いで「年に数回」が18.5%となっており、定期的にご利用している人の割合は低い状況です。



図表 55 路線バス利用頻度

② 鉄道

鉄道の利用頻度は、「年に数回」の割合が46.0%で最も多く、次いで「利用していない」が34.6%となっています。

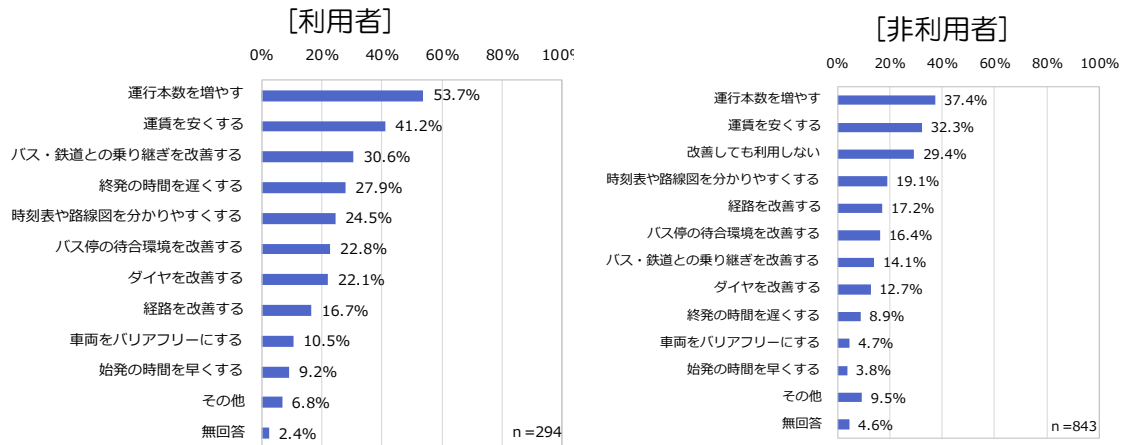


図表 56 鉄道の利用頻度

(6) 公共交通に対する改善ニーズ

① 路線バス

路線バスに対する利用者からの改善ニーズは、「運行本数を増やす」の割合が53.7%で最も多く、次いで「運賃を安くする」が41.2%、「バス・鉄道との乗り継ぎを改善する」が30.6%となっています。非利用者からの改善ニーズは、「運行本数を増やす」の割合が37.4%で最も多く、次いで「運賃を安くする」が32.3%、「改善しても利用しない」が29.4%となっています。

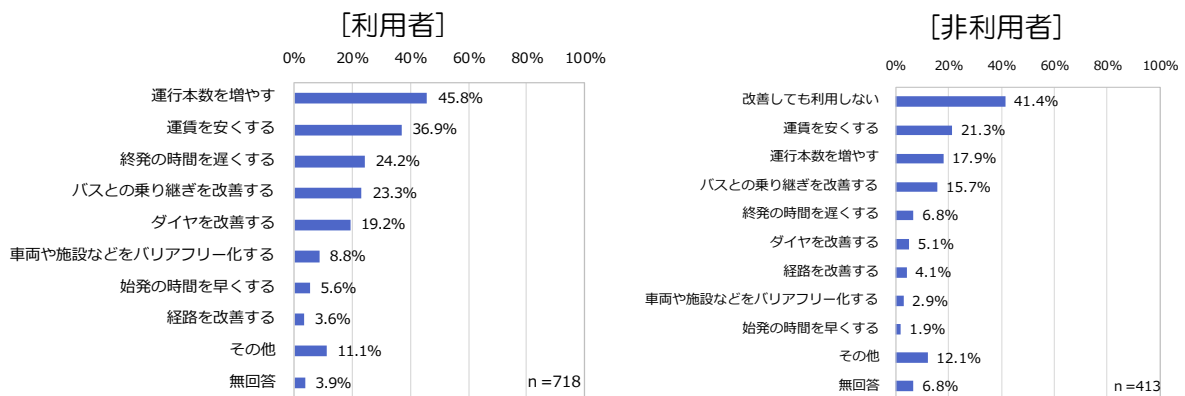


(複数回答可)

図表 57 路線バスに対する改善ニーズ

② 鉄道

鉄道に対する利用者からの改善ニーズは、「運行本数を増やす」の割合が45.8%で最も多く、次いで「運賃を安くする」が36.9%、「終発の時間を遅くする」が24.2%となっています。非利用者からの改善ニーズは、「改善しても利用しない」の割合が41.4%で最も多く、次いで「運賃を安くする」が21.3%、「運行本数を増やす」が17.9%となっています。



(複数回答可)

図表 58 鉄道に対する改善ニーズ

3. 民生委員アンケート調査結果

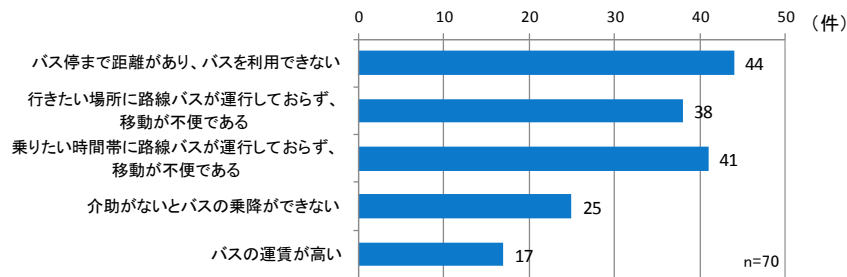
(1) バス等を利用する必要がある人の状況

民生委員が把握するバス等を利用する必要がある人（自分ひとりで移動ができるが、免許証を持たないなど車での移動が困難なため、路線バスやタクシーなどの公共交通機関を利用する必要がある人）は、市全域で約 1,500 人おり、今までに民生委員が受けた移動に関する相談件数は約 200 件です。

相談内容は「バス停まで距離があり、バスを利用できない」が最も多く、自由意見ではデマンド交通やコミュニティバスなど新規の公共交通導入に関する意見が多くあがっています。

	中央地域	新田・中関地域	西浦地域	牟礼地域	華城地域	右田地域	玉祖地域	富海地域	大道地域	向島地域	小野地域	計
バス等を必要とする人数（人）	494	298	73	184	69	117	46	75	29	36	67	1,488
移動に関する相談件数（件）	37	39	23	30	12	9	14	6	8	7	8	193

図表 59 地域別のバス等を利用する必要がある人の状況



図表 60 移動に関する相談内容

		中央地域	新田・中関地域	西浦地域	牟礼地域	華城地域	右田地域	玉祖地域	富海地域	大道地域	向島地域	小野地域	不明	計
路線バス	バス停の位置・増設	3	6	0	4	3	1	3	1	3	3	2	0	29
	便数・ダイヤ	2	2	2	2	4	1	2	0	3	2	1	0	21
	ルート	6	9	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	21
	乗継	0	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	5
	新しい交通導入(コミュニティバス・デマンド等)	12	3	5	3	4	3	2	3	1	1	2	1	40
	車両	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	運賃	2	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
	その他	3	1	0	1	2	3	1	2	0	1	1	0	15
タクシー	利用の有無・使いやすさ	14	2	0	3	7	1	0	1	2	0	0	0	30
	運賃	9	3	0	2	2	0	2	0	0	1	0	1	20
鉄道	駅の設備	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	駅までの移動手段	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
高齢者支援制度	手続き	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	制度	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
自家用車	その他	4	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	9
	自家用車	9	1	0	2	3	0	0	1	2	0	0	0	18
調査	本調査に対する意見	3	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3	0	9
	その他(分類できないもの)	6	4	2	1	5	4	1	0	0	1	0	0	24

図表 61 自由意見

4. 高校生アンケート調査結果

(1) 通学手段

通学時、自転車を利用する人の割合は、防府高校、防府商工高校、誠英高校では70%前後となっており、鉄道を利用する人の割合は、防府高校、防府西高校、高川学園高校では40～60%程度となっています。路線バスを利用して通学する人の割合は、各校とも5%未満となっています。

また、各校とも自家用車（送迎）で通学する人の割合が10～20%程度あります。

	防府高校	防府西高校	防府商工高校	誠英高校	高川学園高校
徒歩	15.3%	25.3%	6.8%	26.0%	22.8%
	15.3%	26.8%	7.6%	30.1%	23.6%
自転車	72.1%	57.3%	76.7%	67.8%	39.8%
	72.5%	57.0%	75.0%	67.1%	39.8%
鉄道	40.1%	54.7%	22.0%	19.2%	46.3%
	40.5%	57.7%	21.6%	19.2%	47.2%
路線バス	1.4%	2.0%	4.2%	2.1%	2.4%
	1.4%	1.3%	4.2%	3.4%	4.1%
スクールバス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%
自家用車	9.9%	18.7%	8.9%	19.9%	23.6%
	9.0%	18.1%	11.0%	17.1%	22.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数（登校）	222	150	236	146	123
回答者数（下校）	222	149	236	146	123

※上段が登校時、下段が下校時を示す

(複数回答可)

図表 62 高校別の登下校時の通学手段

(2) 路線バスのサービス改善後の利用意向と改善ニーズ

路線バスのサービス改善ニーズをみると、各校とも「運行本数を増やす」の割合が最も多く、次いで「運賃を安くする」が多くなっています。

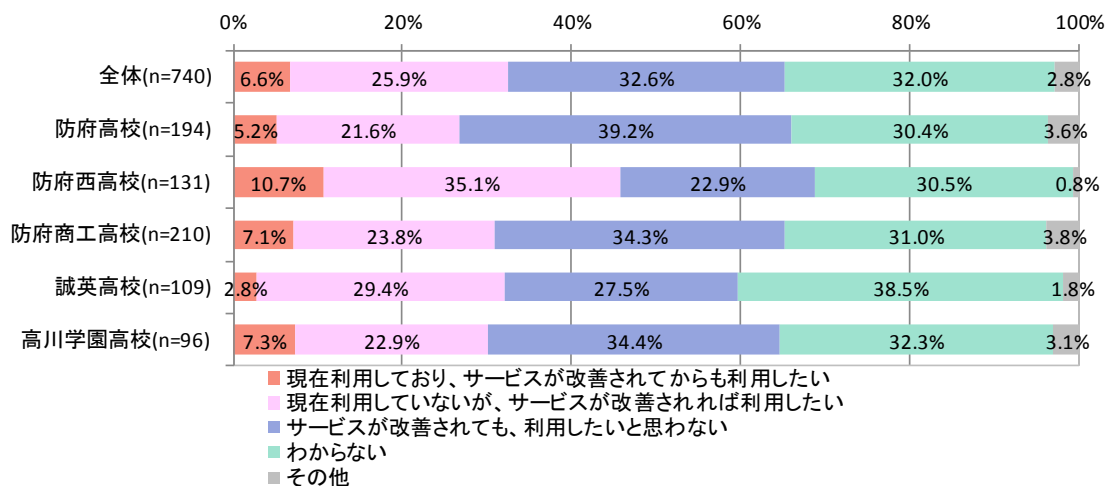
路線バスのサービス改善後の利用意向をみると、各校とも「現在利用しており、サービスが改善されてからも利用したい」及び「現在利用していないが、サービスが改善されれば利用したい」の割合が30～50%程度あります。

項目	防府高校	防府西高校	防府商工高校	誠英高校	高川学園高校	計
運行本数を増やす	75.0%	75.0%	73.4%	82.4%	69.0%	74.9%
ダイヤ（運行時間）を改善する	26.9%	40.0%	17.2%	11.8%	17.2%	24.3%
運賃を安くする	63.5%	48.3%	59.4%	73.5%	51.7%	58.6%
片道定期券を発行する	0.0%	8.3%	3.1%	5.9%	6.9%	4.6%
経路（行先・経由地）を改善する	3.8%	10.0%	3.1%	17.6%	10.3%	7.9%
目的地までの所要時間を短くする	7.7%	0.0%	0.0%	2.9%	3.4%	2.5%
始発の時間を早くする	0.0%	3.3%	3.1%	5.9%	6.9%	3.3%
終発の時間を遅くする	7.7%	11.7%	9.4%	5.9%	17.2%	10.0%
時刻表や路線図をわかりやすくする	7.7%	11.7%	20.3%	23.5%	24.1%	16.3%
鉄道等との乗り継ぎを便利にする	7.7%	13.3%	6.3%	5.9%	20.7%	10.0%
バス停周辺に駐輪場を整備する	15.4%	6.7%	10.9%	8.8%	6.9%	10.0%
屋根や椅子などバス停の待合環境を改善する	11.5%	11.7%	7.8%	20.6%	6.9%	11.3%
バスロケーションシステムを導入する	13.5%	11.7%	12.5%	11.8%	0.0%	10.9%
その他	3.8%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	1.3%
回答者数	52	60	64	34	29	239

※サービス利用改善後の利用意向で「利用したい（している）」と回答した人のみ抽出

（複数回答可）

図表 63 高校別の路線バスのサービス改善ニーズ

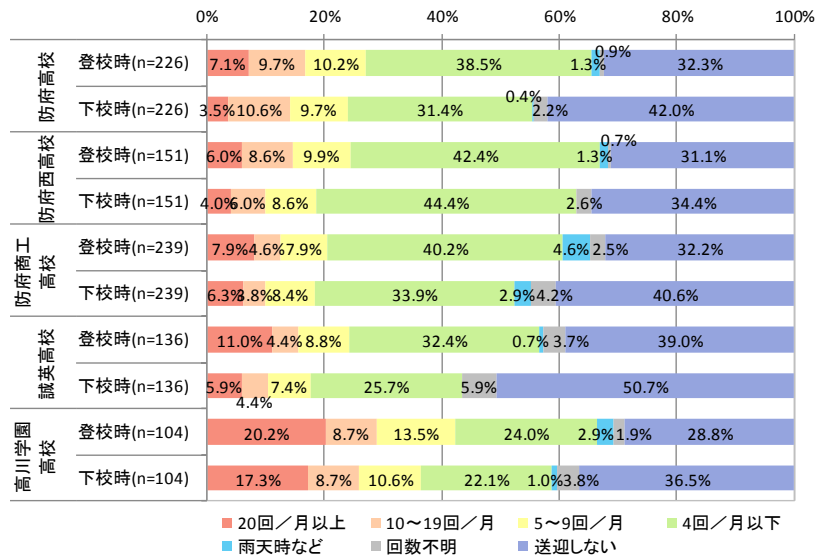


図表 64 高校別の路線バスのサービス改善後の利用意向

(3) 保護者による送迎状況

保護者による自家用車等での送迎頻度は、各校とも「送迎しない」、「4回／月以下」の割合が多くなっていますが、月に5回以上送迎する人も一定数見られます。

送迎理由では、各校とも「雨や雪などの悪天候」の割合が最も多く、次いで「お子様の病気やけがなど体調不良」となっています。



図表 65 高校別の自家用車等での送迎頻度

	防府高校	防府西高校	防府商工高校	誠英高校	高川学園高校
雨や雪などの悪天候	86.0%	80.5%	87.2%	84.3%	68.0%
お子様の病気やけがなど体調不良	31.2%	41.5%	32.3%	28.9%	26.7%
登校時刻にあった路線バスの運行がない	10.8%	8.5%	6.1%	6.0%	13.3%
下校時刻にあった路線バスの運行がない	9.6%	9.3%	9.8%	4.8%	16.0%
登校時刻にあった鉄道の運行がない	3.8%	10.2%	1.2%	2.4%	8.0%
下校時刻にあった鉄道の運行がない	0.6%	12.7%	3.0%	1.2%	9.3%
バス停や駅が自宅から遠い	8.9%	13.6%	9.8%	10.8%	16.0%
公共交通機関の乗り継ぎが不便	3.8%	6.8%	3.0%	6.0%	14.7%
公共交通機関を利用した通学は可能だが、自家用車等の方が楽	3.8%	1.7%	7.9%	7.2%	6.7%
公共交通機関の定時運行が不安定	0.6%	0.8%	0.6%	1.2%	1.3%
送迎の方が交通費が少なくて済む	7.6%	4.2%	10.4%	9.6%	9.3%
防犯上心配	22.3%	15.3%	9.1%	7.2%	6.7%
通勤先の方面と一緒に	10.8%	10.2%	11.6%	10.8%	6.7%
その他	8.3%	8.5%	6.1%	6.0%	12.0%
回答者数	157	118	164	83	75

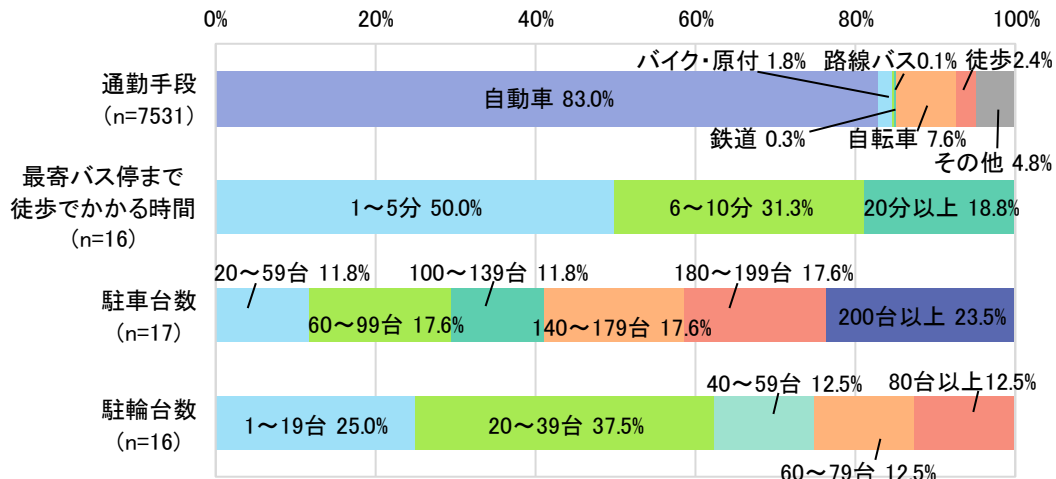
(複数回答可)

図表 66 高校別の自家用車等での送迎理由

5. 事業所アンケート調査結果

(1) 通勤実態と事業所設備の状況

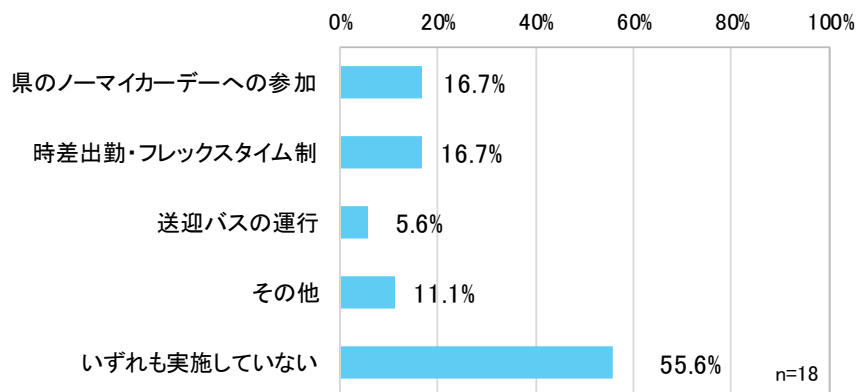
通勤手段をみると、「自動車」の割合が 83.0%と最も多く、一方、「鉄道」は 0.3%、「路線バス」は 0.1%となっています。



図表 67 通勤実態と事業所設備の状況

(2) エコ通勤に関する取組

エコ通勤に関する取組の実施状況をみると、「いずれも実施していない」の割合が最も多くなっています。



図表 68 エコ通勤に関する取組

※エコ通勤・・・渋滞・地球温暖化等の問題の原因となり得る通勤交通について、各事業所が社会的責任（CSR）・効率的な経営の観点から、望ましいあり方を考える取組

※ノーマイカーデー・・・山口県では CO2 削減や公共交通機関の利用促進、可能な限り車を使用しないエコライフに取り組むきっかけづくりを目的として「県内一斉ノーマイカーデー」を実施している。

※時差出勤・・・「8:00~17:00」「8:30~17:30」のような複数のパターンから就業時間を選択する制度

※フレックスタイム制・・・必ず勤務する「コアタイム」を設けた上で、始業・終業時刻を労働者の選択に委ねる制度

6. 県立総合医療センターアンケート調査結果

(1) 県立総合医療センターへの移動手段

県立総合医療センターへの移動手段は、各地域とも「自分で運転」の割合が多くなっています。「路線バス」の割合は、中央地域、新田・中関地域、西浦地域、富海地域で20%以上となっており、山口市や周南市の市外で10%程度となっています。

	徒歩	自転車	路線バス	自分で運転	送迎	タクシー	鉄道	回答者数
全体	2.5%	3.2%	14.5%	58.9%	25.5%	5.3%	0.7%	282
中央	3.7%	5.6%	22.2%	44.4%	38.9%	9.3%	0.0%	54
新田・中関	0.0%	0.0%	24.0%	52.0%	24.0%	8.0%	0.0%	25
西浦	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	5
牟礼	0.0%	0.0%	15.0%	70.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20
華城	0.0%	0.0%	11.8%	82.4%	0.0%	5.9%	0.0%	17
右田	6.7%	13.3%	6.7%	46.7%	40.0%	0.0%	0.0%	15
玉祖	25.0%	18.8%	6.3%	50.0%	18.8%	12.5%	0.0%	16
富海	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	5
大道	0.0%	0.0%	13.3%	80.0%	6.7%	0.0%	6.7%	15
向島	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2
小野	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	6
山口市	0.0%	0.0%	11.1%	77.8%	13.3%	2.2%	0.0%	45
周南市	0.0%	0.0%	8.3%	58.3%	33.3%	0.0%	0.0%	12
その他	0.0%	2.2%	11.1%	46.7%	37.8%	4.4%	2.2%	45

(複数回答可)

図表 69 地域別の県立総合医療センターへの移動手段

(2) 路線バスのサービス改善後の利用意向と改善ニーズ

路線バスのサービス改善ニーズをみると、「運行本数を増やす」の割合が高い地域が多く、西浦地域、大道地域は「経路（行先・経由地）を改善する」の割合が最も多くなっています。

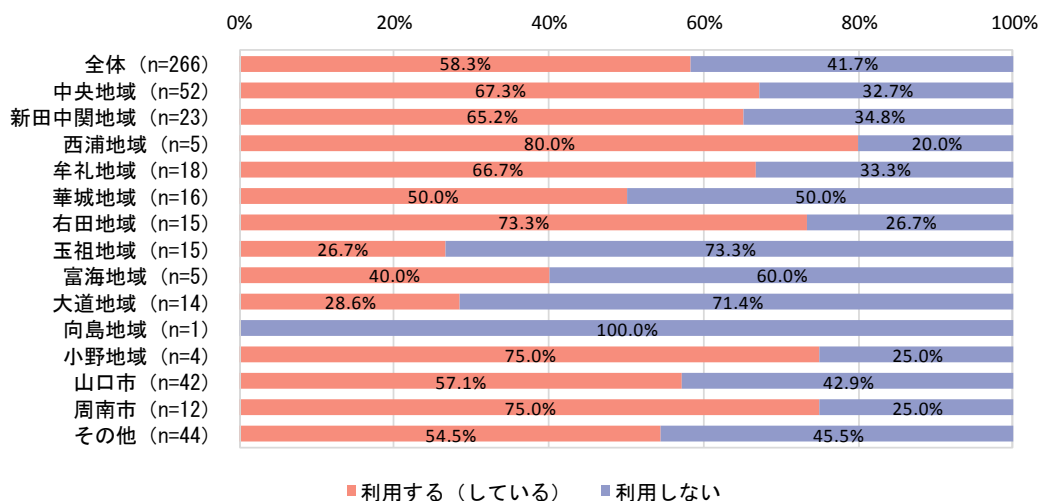
路線バスのサービス改善後の利用意向をみると、「利用する（している）」の割合が58.3%となっています。

	運行本数を増やす	ダイヤ（時刻）を改善する	車両をバリアフリーにする	バス・鉄道との乗継を改善する	始発の時間を早くする	終発の時間を遅くする	経路（行先・経由地）を改善する	運賃を安くする	時刻表や路線図を分かりやすくする	バス停の待合環境を改善する	バスロケーションシステムを導入する	その他	回答者数
全体	69.8%	22.2%	15.1%	18.3%	3.2%	6.3%	18.3%	35.7%	17.5%	12.7%	3.2%	6.3%	126
中央	85.2%	29.6%	25.9%	11.1%	0.0%	0.0%	7.4%	29.6%	22.2%	18.5%	0.0%	7.4%	27
新田・中関	78.6%	21.4%	21.4%	28.6%	0.0%	21.4%	21.4%	50.0%	14.3%	21.4%	0.0%	7.1%	14
西浦	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4
牟礼	72.7%	18.2%	18.2%	27.3%	0.0%	18.2%	27.3%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	11
華城	57.1%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	7
右田	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	7
玉祖	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	3
富海	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
大道	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
小野	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	3
山口市	50.0%	30.0%	0.0%	20.0%	15.0%	15.0%	25.0%	35.0%	25.0%	15.0%	10.0%	0.0%	20
周南市	85.7%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	7
その他	73.7%	15.8%	10.5%	0.0%	26.3%	5.3%	0.0%	5.3%	52.6%	10.5%	15.8%	5.3%	19

※サービス改善後の利用意向で「利用する（している）」と回答した人のみ抽出

（複数回答可）

図表 70 地域別の路線バスの改善ニーズ



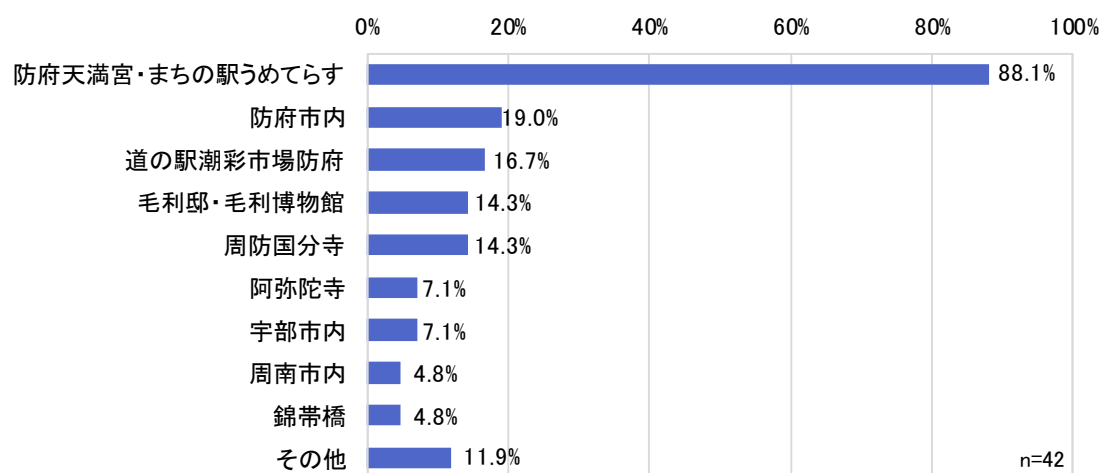
図表 71 地域別の路線バスのサービス改善後の利用意向

7. 観光客アンケート調査結果

(1) 今回の観光で訪れた（訪れる予定の）観光地と移動手段

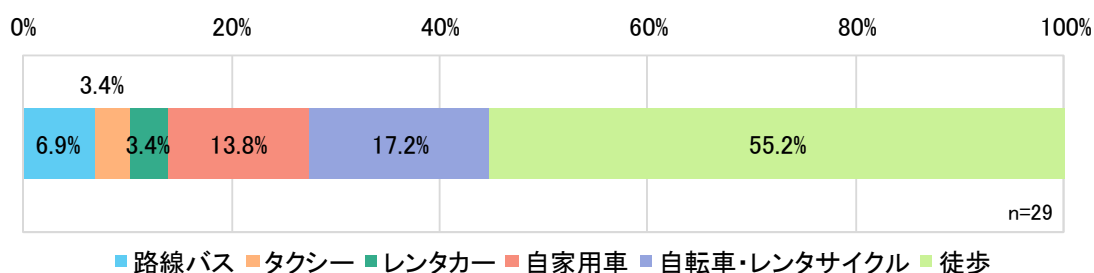
今回の観光で訪れた（訪れる予定の）観光地をみると、「防府天満宮・まちの駅うめてらす」の割合が88.1%と最も多くなっています。

防府駅から防府天満宮・まちの駅うめてらすへの移動手段をみると、「徒歩」の割合が最も多く、「路線バス」の割合は6.9%となっています。



(複数回答可)

図表 72 今回の観光で訪れた（訪れる予定の）観光地



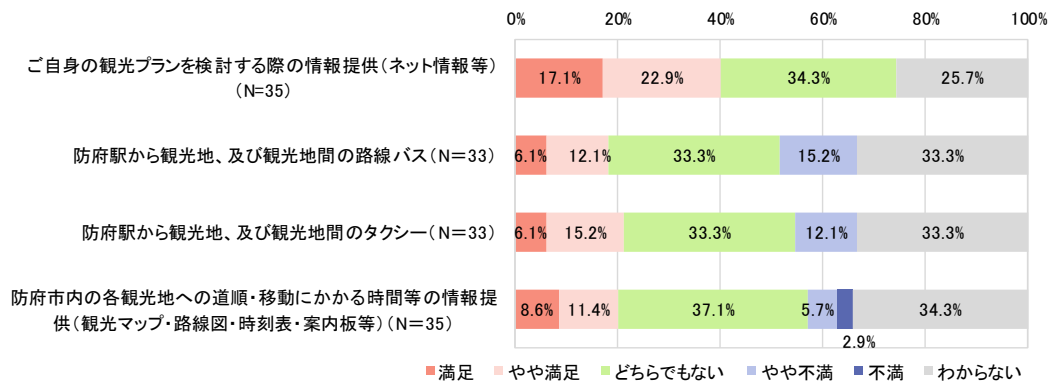
■ 路線バス ■ タクシー ■ レンタカー ■ 自家用車 ■ 自転車・レンタサイクル ■ 徒歩

(複数回答可)

図表 73 防府駅から防府天満宮・まちの駅うめてらすへの移動手段

(2) 観光における移動の満足度

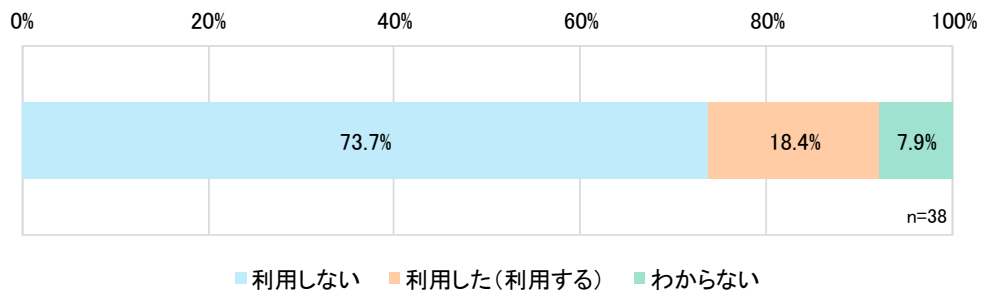
観光プランを検討する際の情報提供については、「満足」、「やや満足」の割合が40.0%ですが、防府駅から観光地及び観光地間の路線バスについては、「やや不満」の割合が15.2%となっています。



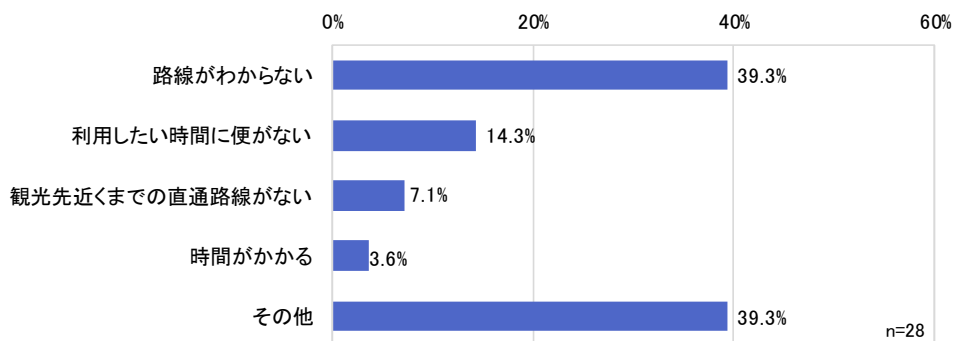
図表 74 観光における移動の満足度

(3) 本市に滞在中の路線バスの利用状況

本市に滞在中の路線バスの利用状況を見ると、「利用しない」の割合が73.7%となっており、利用しない理由をみると、「路線がわからない」の割合が39.3%となっています。



図表 75 本市に滞在中の路線バスの利用状況

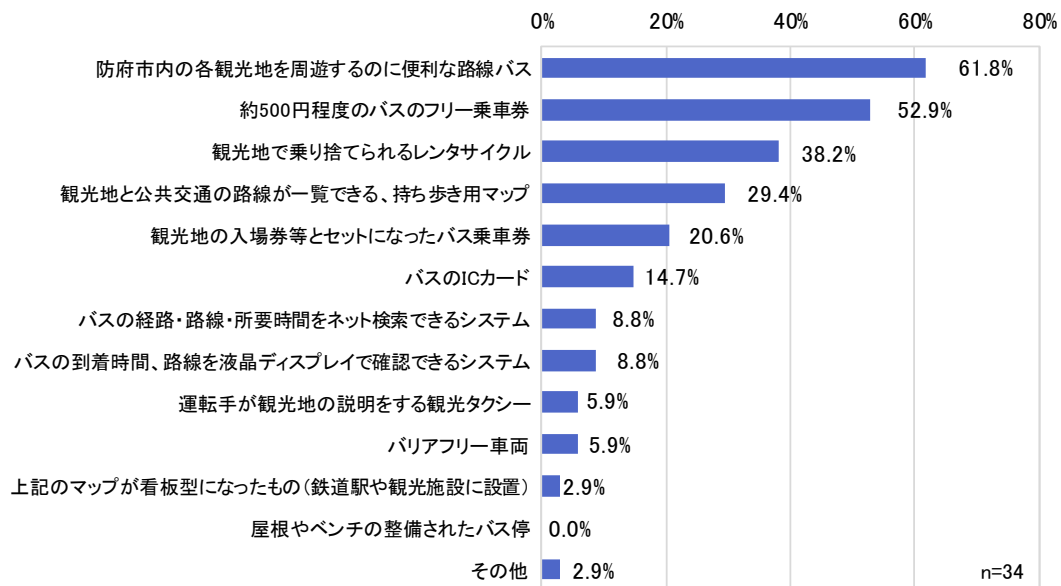


(複数回答可)

図表 76 路線バスを利用しない理由

(4) 観光における公共交通の設備・サービスのニーズ

観光における公共交通の設備・サービスのニーズをみると、「防府市内の各観光地を周遊するのに便利なバス」の割合が61.8%と最も多く、次いで「約500円程度のバスのフリー乗車券」が52.9%となっています。



(複数回答可)

図表 77 観光における公共交通の設備・サービスのニーズ

8. 交通事業者ヒアリング調査結果

(1) ヒアリング調査の概要

公共交通の実態を把握するため、交通事業者を対象にヒアリング調査を実施しました。

ヒアリング調査対象
■ 鉄道 : 西日本旅客鉄道株式会社 (防府駅)
■ 路線バス : 防長交通株式会社、中国ジェイアールバス株式会社、
■ タクシー : 日の丸タクシー株式会社、湯田都タクシー株式会社

(2) ヒアリング調査結果

ヒアリング調査結果
■ 西日本旅客鉄道株式会社 (防府駅)
○バスとの乗り継ぎに着いて
・ 新幹線との乗り継ぎが優先されるため、防府駅のダイヤだけをバスに合わせて変えることは難しい。
■ 防長交通株式会社、中国ジェイアールバス株式会社
○路線バスの運転手不足について
・ 運転手の高齢化や運転手不足の状況が続いていることから、今後5年以内に減便を行う可能性がある。
・ 既に運転手不足が一因となって減便を実施している。
○利用促進について
・ 高齢者等外出支援助成制度について知らない人が多い。
・ 小学生向けのバスの乗り方教室は、常時申し込みを受け付けているが、防府市ではほとんど申し込みがない。
○利用者の意見・要望について
・ 鉄道と路線バスの乗り継ぎが悪い。
・ 防府市から山口市に行く場合の運賃が高い。
■ 日の丸タクシー株式会社、湯田都タクシー株式会社
○輸送人員について
・ 輸送人員が減少傾向にあるが、特に夜間での減少が著しい。

図表 78 ヒアリング調査の対象と結果

9. 市街地循環ワゴン実証運行の結果

(1) 実証運行の概要

鉄道や路線バスを補完する新たな公共交通の可能性を探ることを目的に、平成 29 年 10 月 2 日から 11 月 30 日までの 2 か月間、市街地の医療機関や商業施設などを循環する路線を設定し、ワゴン型車両での実証運行調査を行います。

項目	運行概要
名称	まちくるワゴン
運行期間	平成 29 年 10 月 2 日～11 月 30 日（土・日・祝日を除く）
ダイヤ (防府駅前 発車時間)	東回り：8:50、9:30、10:10、11:20、12:00、13:50、14:30、15:10（8 便） 西回り：8:55、9:40、10:25、11:30、12:15、14:00、14:45、15:30（8 便）
所要時間	東回り：27 分（5.39km）、西回り：37 分（7.82km）
運行車両	旅客定員 9 人のワゴン車両
運行事業者	東回り：日の丸タクシー株式会社、西回り：湯田都タクシー株式会社
運賃	大人 200 円、小人 100 円、1 日乗車券 500 円 ※防府駅前停留所止めとなる第 3 便、第 5 便、第 8 便以外は、防府駅前停留所をまたぐ利用も可とし、1 乗車（200 円）として扱う。 ※幼児は、保護者同伴につき 1 人まで無料。乳児は無料。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者は半額。

図表 79 市街地循環ワゴンの概要



まちくるワゴン

まちくるワゴン

市街地循環ワゴン



1乗車
200円
(子ども・障害者は100円)

1日乗車券
500円
(1日乗り放題)

東		時刻							
停留所		1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
1	防府駅前	8:50	9:30	10:10	11:20	12:00	13:50	14:30	15:10
2	桑陽病院前	8:52	9:32	10:12	11:22	12:02	13:52	14:32	15:12
3	公会堂前	8:54	9:34	10:14	11:24	12:04	13:54	14:34	15:14
4	緑町三祐病院	8:56	9:36	10:16	11:26	12:06	13:56	14:36	15:16
5	松村内科前	8:59	9:39	10:19	11:29	12:09	13:59	14:39	15:19
6	国分寺	9:02	9:42	10:22	11:32	12:12	14:02	14:42	15:22
7	うめてらす前	9:03	9:43	10:23	11:33	12:13	14:03	14:43	15:23
8	定念寺前	9:04	9:44	10:24	11:34	12:14	14:04	14:44	15:24
9	鮎津医院前	9:06	9:46	10:26	11:36	12:16	14:06	14:46	15:26
10	ゆめタウン防府前	9:07	9:47	10:27	11:37	12:17	14:07	14:47	15:27
11	大西眼科	9:10	9:50	10:30	11:40	12:20	14:10	14:50	15:30
12	アルク防府駅前	9:12	9:52	10:32	11:42	12:22	14:12	14:52	15:32
1	防府駅前	9:17	9:57	10:37	11:47	12:27	14:17	14:57	15:37

西		時刻							
停留所		1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
1	防府駅前	8:55	9:40	10:25	11:30	12:15	14:00	14:45	15:30
2	昭和薬局前	8:58	9:43	10:28	11:33	12:18	14:03	14:48	15:33
3	コマダ珈琲店	9:01	9:46	10:31	11:36	12:21	14:06	14:51	15:36
4	瀬内科循環器科	9:03	9:48	10:33	11:38	12:23	14:08	14:53	15:38
5	大進前	9:05	9:50	10:35	11:40	12:25	14:10	14:55	15:40
6	八王子	9:08	9:53	10:38	11:43	12:28	14:13	14:58	15:43
7	ゆめタウン防府前	9:10	9:55	10:40	11:45	12:30	14:15	15:00	15:45
8	ちよう歯科前	9:13	9:58	10:43	11:48	12:33	14:18	15:03	15:48
9	光山医院	9:14	9:59	10:44	11:49	12:34	14:19	15:04	15:49
10	室作福祉センター前	9:16	10:01	10:46	11:51	12:36	14:21	15:06	15:51
11	佐波中学校前	9:18	10:03	10:48	11:53	12:38	14:23	15:08	15:53
12	宮市	9:19	10:04	10:49	11:54	12:39	14:24	15:09	15:54
13	定念寺前	9:20	10:05	10:50	11:55	12:40	14:25	15:10	15:55
14	うめてらす前	9:21	10:06	10:51	11:56	12:41	14:26	15:11	15:56
15	防府天満宮	9:22	10:07	10:52	11:57	12:42	14:27	15:12	15:57
16	松崎町駅前	9:23	10:08	10:53	11:58	12:43	14:28	15:13	15:58
17	天神町	9:26	10:11	10:56	12:01	12:46	14:31	15:16	16:01
18	アルク防府駅前	9:27	10:12	10:57	12:02	12:47	14:32	15:17	16:02
1	防府駅前	9:32	10:17	11:02	12:07	12:52	14:37	15:22	16:07

※東回り・西回りとも、3便・5便・8便は、防府駅前止めとなります

運行期間

平成29年10月2日～11月30日(土・日・祝日を除く)



まちくるワゴン 乗車のおススメ

平成29年10月2日から11月30日まで、市街地循環ワゴンの実証運行を行います。

おススメ その1 停留所が近いから 目的地の近くで乗り降りできる!

路線バスの停留所に比べ、近い間隔で停留所を設置しました。停留所どうしが近いので、行きたい場所により近い場所で乗り降りすることができます!



おススメ その2 病院やスーパーが停留所! 建物の前で停まる!!

通院や買い物など、日ごろの生活がより便利になるよう、人が集まる場所を停留所にしました。



おススメ その3 西も! 東も! 乗り継ぎもできる! 1日乗車券は500円!!!

1日に3回以上乗るなら1日乗車券がお得!! 西回りから東回りに乗り継いだり、両方のワゴンで利用できます。帰りの運賃を気にすることなく、病院帰りのお買い物やお茶をお楽しみください。



●市街地循環ワゴン「まちくるワゴン」について

鉄道や路線バスを補完する新たな公共交通の可能性を探るため、平成29年10月2日から11月30日までの2か月間、市街地を循環する「まちくるワゴン」を1日8便、2ルート(東回り、西回り)で実証運行します(土・日・祝日を除く)。
医療機関や商業施設などに停留所を設け、日常生活において利用することの多い場所をめぐるルートとしました。
私有地に設置している停留所は、土地所有者又は管理者のご好意により設置しています。

●運賃

運賃は乗車の際、現金でお支払いください。
大人(中学生以上) 200円
子ども(小学生以下) 100円
※幼児(1歳から6歳までの未就学児)は、保護者同伴につき1人まで無料です。
※1歳未満の乳児は、無料です。
※高齢者等外出支援助成券は使用できません。
障害者の方は半額となります。乗車の際、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をご提示ください。

●1日乗車券について

まちくるワゴンを1日何回でも乗り降りできる1日乗車券を500円で販売しています。乗車の際、車内でご購入ください(1日乗車券は、子ども、障害者の方も500円となります)。

●防府駅前停留所をまたぐ乗車について

東回り、西回りとも3便、5便、8便を除き、防府駅前停留所をまたいで乗車することができます。

お問い合わせ

■運行や忘れ物などについて

日の丸タクシー株式会社
☎ 0835-22-0897
西 藤田タクシー株式会社
☎ 0835-22-0130

■市街地循環ワゴン事業について

防府市 総合政策課 交通政策係
☎ 0835-25-2119

URL <http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/soc/kiki/3/machikuru-wagon.html> 防府市 まちくるワゴン 検索

図表 80 まちくるワゴンちらし

(2) 実証運行の利用状況

※実証運行調査実施後に作成予定

(3) 実証運行の検証と本モードの評価

※実証運行調査実施後に作成予定

第6章 防府市における公共交通の課題

まちづくりの方向性、防府市を取り巻く環境、公共交通の状況、公共交通に関する各種調査結果から現状を分析し、本市における公共交通の課題を整理しました。

1. ネットワーク形成と利用環境に関する課題

① 都市核と各地域を結ぶ持続可能な公共交通ネットワークの形成

○人口減少・高齢化など、本市を取り巻く環境が変化している中で、持続可能な都市構造の形成が求められています。(p.4,5,9)

〔課題〕

- 都市核と地域核を有機的に結ぶなど、コンパクトなまちづくりに資する公共交通ネットワークを形成する必要があります。

○モータリゼーションの進展等によって公共交通の利用者が減少しており、公共交通サービスを維持するための市の財政負担が年々増加しています。(p.10,21,28,34)

〔課題〕

- 路線の効率化や利用促進等により財政負担の増加抑制に努め、持続可能な公共交通ネットワークとしていく必要があります。

○市中央部に医療機関・商業施設等の主な移動目的地が集中しており、各地域からの利用が見られますが、それらへのアクセスは既存のネットワークではカバーできていない状況です。(p.14,37,38)

〔課題〕

- 市中央部における医療機関・商業施設へのアクセスの利便性向上を図る必要があります。

○本市の公共交通のネットワークは、防府駅を起点に様々な交通モードで構成されており、路線バス、鉄道、乗合タクシーでの人口カバー率は 69.9%となっています。
(p.16,17)

〔課題〕

- 公共交通サービスが行き届いていない地域において、地域の実情に応じた高齢者等の移動手段の確保が必要です。

○本市と山口市との間の移動をはじめとして、通勤・通学等で多くの人が市域をまたいで移動しています。(p.11～13)

〔課題〕

- 通勤・通学などの日常的な移動や広域的な交流を支えるため、広域交通を維持することが必要です。

○市内には観光資源が点在していますが、特に防府天満宮、道の駅潮彩市場防府、まちの駅うめてらす、国分寺、毛利氏庭園、阿弥陀寺への観光客が多い状況です。
(p.15,48)

〔課題〕

- 観光に適したバス路線の維持・確保が必要です。

② 公共交通の利便性の向上

○路線バスどうしまたは路線バスと他のモードの乗り継ぎ改善が求められています。
(p.29,40,51)

〔課題〕

- 関係事業者の連携により、より良いダイヤ編成を行うなど、乗り継ぎの利便性向上を図る必要があります。

○鉄道は広域移動手段であるとともに、市中央部と地域を結ぶ重要な幹線となっています。(p.11,18,40)

〔課題〕

- バリアフリー化を促進するなど、利便性の向上を図る必要があります。

○バス停の待合環境の整備が求められています。(p.40,43,47)

〔課題〕

- 地域や事業者と連携して、待合環境を整備する必要があります。

2.高齢化に関する課題

① 高齢化に対応した移動支援の確保

○本市の公共交通のネットワークは、防府駅を起点に様々な交通モードで構成されており、路線バス、鉄道、乗合タクシーでの人口カバー率は69.9%となっています。
(p.16,17) ※再掲

〔課題〕

- 公共交通サービスが行き届いていない地域において、地域の実情に応じた高齢者等の移動手段の確保が必要です。 ※再掲

○高齢者の運転免許保有割合が増える一方、免許返納者は増加しています。(p.10)

〔課題〕

- 自らの移動手段を持たない高齢者への移動支援を、継続して実施する必要があります。

3.協働・連携に関する課題

① 関係者との協働・連携

〔課題〕

- 市民、交通事業者、行政をはじめとする関係する主体が協働・連携し、一体となって公共交通の課題解決に取り組む必要があります。